Pioneer

ミニディスクレコーダー

MJ-D5

取扱説明書

パイオニアの製品をお買い求めいただきましてまことにありがとうございます。

この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。特に、本書及び別冊の「安全上のご注意」は必ずお読みください。なお、「取扱説明書」及び「安全上のご注意」は「保証書」「ご相談窓口・修理窓口のご案内」と一緒に保管してください。

安全上のご注意

安全に正しくお使いいただくために

絵表示について

この取扱説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

 警告 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△記号は注意（警告を含む）しなければならない内容であることを示しています。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。

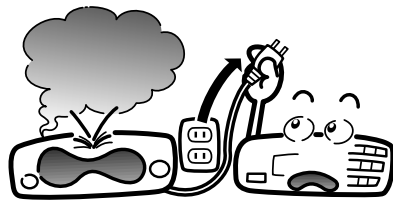
⃠記号は禁止（やってはいけないこと）を示しています。
図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

●記号は行動を強制したり指示する内容を示しています。
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

⚠ 警告

〔異常時の処置〕

● 万一煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。

プラグを抜け

● 万一内部に水や異物等が入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

プラグを抜け

● 万一本機を落としたり、カバーを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

プラグを抜け

付属の「安全上のご注意」もお読みください。

もくじ

特　長

■ ARTIST システム

ARTIST システムは、高音質な録音を可能にする機能です。
MD では、人に聴こえないレベルの音声をカットすることで、音声データを約 1/5 に圧縮して録音しています。この技術を ATRAC といいます。本機の ARTIST システムは、DSP により音声信号の周波数特性を常に分析し、音声信号が多く含まれる周波数帯域に多くのデータが割り当てられるように、ATRAC を高精度に制御します。従来と比べて、音の余韻が忠実に再現でき、音楽性あふれる録音が可能となりました。

■ デジタル NR 機能(Digital Noise Reduction 機能) P.16 P.19

パイオニアが独自に開発した技術で、ノイズを低減させて録音したり、再生したりできます。
カセットデッキの再生信号や受信状態の悪い放送信号など、ノイズを含んだあらゆる音声信号に対して適応できます。
理論的には、高域信号において音声信号が連続することが少ないことを利用しています。入力信号に含むノイズレベルを検出することで、そのノイズレベルを下げ、人の耳に聞こえるノイズを低減しています。

■ デジタルボリューム機能 P.26

デジタル録音においても、デジタル入力の音声レベルの調整を可能にしました。

■ タイムスキップ機能による高速検索 P.16

従来のディスクの早送り（早戻し）機能に加え、15 秒または 60 秒という時間レベルでのサーチを可能にしました。

■ ディスク全曲を一つの曲の様につなげて演奏するメドレー演奏機能 P.23

たとえば、10曲が録音されているMDをメドレー再生した場合、曲のエンディング部分である後ろの約10秒間をカットして次の曲と違和感なくフェードアウトでつなぐことで、10 曲をあたかも一つの曲のように演奏します。

■ レガート・リンク・コンバージョン

自然な音楽演奏を実現する「レガート・リンク コンバージョン」を搭載しています。ディスクに記録される信号の周波数は、フォーマット上20kHzを上限としています。ところが自然界の音や楽器に含まれる音楽成分には20kHz以上の周波数成分も含まれており、本当の意味でオリジナルの信号波形そのものがディスクに記録されているとは言えませんでした。「レガート・リンク コンバージョン」はディスクに記録された信号を元に記録前のオリジナルの信号を想定し、原音により近い音楽演奏を実現しました。

■ MD 編集機能による UTOC の書き換えが可能 P.41

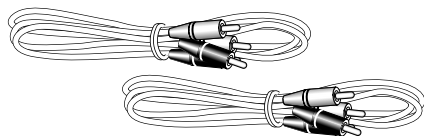
本機では MD 編集機能により、MD を取り出すことなく UTOC の書き換えを行うことができます。

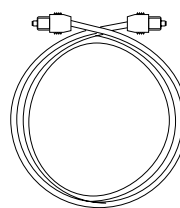
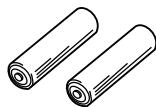
■ DAC 機能搭載 P.43

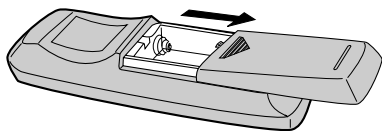
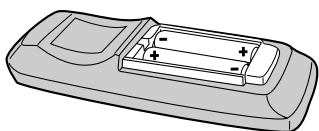
CD やカセットレコーダーからの信号を、本機の DAC（デジタル ➞ アナログコンバーター）機能を使って再生することにより、デジタル NR などの高音質を楽しむことができます。

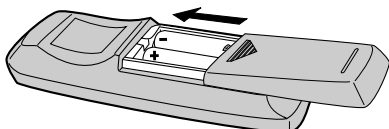
付属品

● リモコン×１

● オーディオコード× 2

● 単 3 形乾電池 (R6P)× 2

● 光ファイバーケーブル×１

● 保証書
● 取扱説明書（本書）
● ご相談窓口・修理窓口のご案内
● 安全上のご注意

リモコンに電池を入れる

裏ブタを押しながら、矢印の方向へスライドさせる。

単 3 形電池を入れる。

乾電池のプラス ⊕ とマイナス ⊖ の向きを、リモコンの表示通りに入れてください。

矢印の方向に、裏ブタを閉める。

⚠ 注意

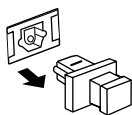
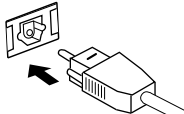
乾電池を誤って使用すると液もれや破裂するなどの危険があります。次の点についてご注意ください。（電池の注意事項もよく見てください。）

1. 乾電池のプラス ⊕ とマイナス ⊖ の向きを電池ケース内の表示通りに正しく入れてください。
2. 新しい乾電池と一度使用した乾電池を混ぜて使用しないでください。
3. 乾電池は同じ形状のものでも電圧の異なるものがありますので、種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。
4. 長い間（1ヶ月以上）使用しないときは、電池の液もれを防ぐために電池を取り出してください。もし、液もれを起こしたときは、ケース内についた液をよく拭きとってから新しい電池を入れてください。

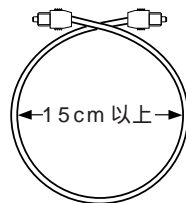
準備

光ファイバーケーブルについて

■ 接続のしかた

1 光デジタル出力端子の防塵キャップを引き抜きます。

2 光ファイバーケーブルのプラグを、端子の形に合わせ奥までしっかり差し込みます。

防塵キャップは、なくさないように大切に保管してください。

■ 取り扱い上の注意

破損する恐れがありますので、光ファイバーケーブルは急な角度に折り曲げたりしないでください。特にラックなどに入れるときなどは、ご注意ください。輪にして保管するときは、直径が 15cm 以上になるようにしてください。また、接続するときは奥まで確実に差し込み、不完全な接続にならないようにしてください。

パイオニアの SR マーク付きのアンプと組み合わせてシステムコントロールを行う場合

市販のミニプラグ付コード（抵抗なし）で、**アンプのコントロール出力端子と本機のコントロール入力端子**を接続します。ステレオアンプのリモコン受光部を本機のリモコン受光部として使用できます。

● 操作方法はステレオアンプの取扱説明書を参照してください。

ご注意：

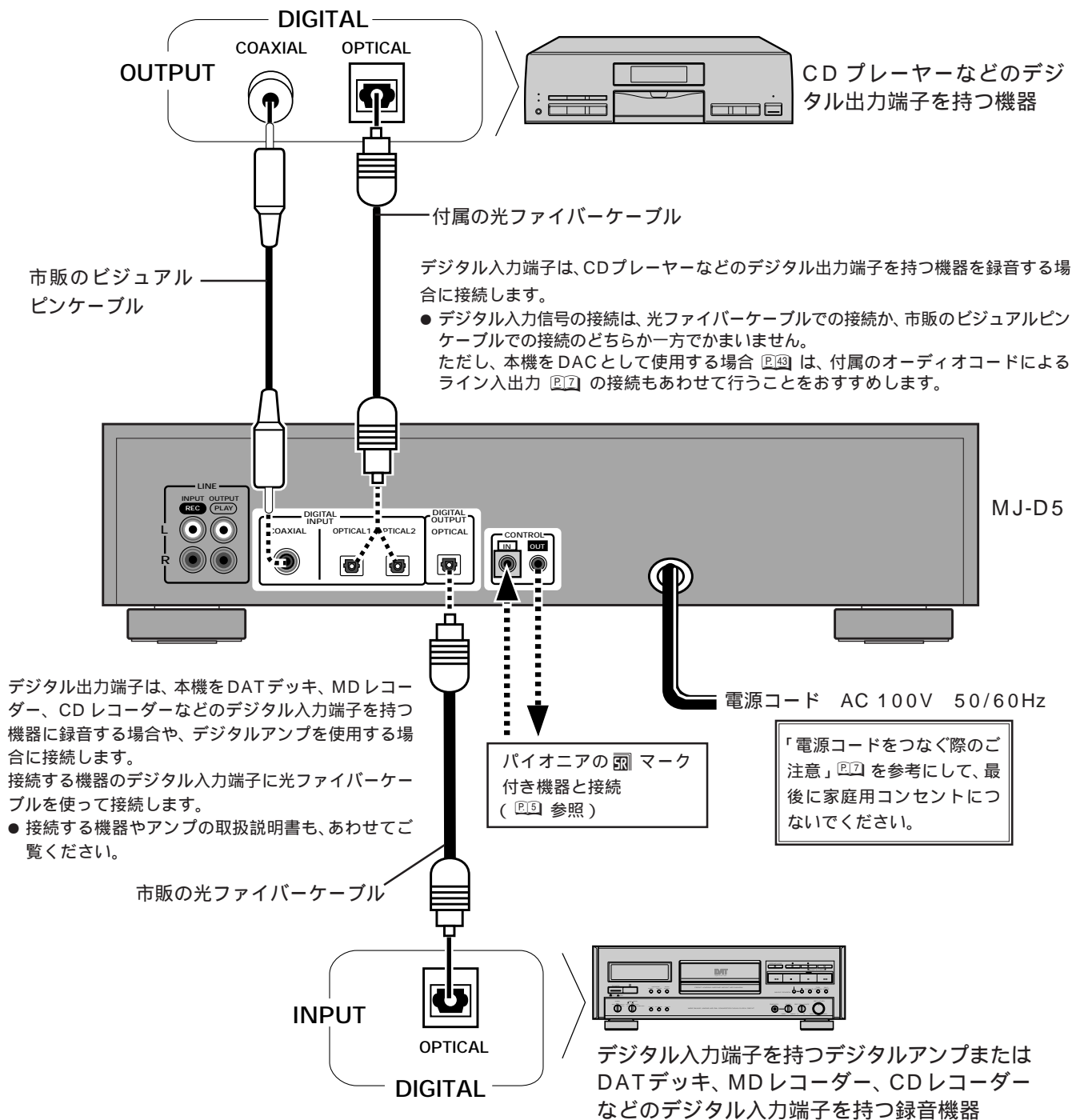
● コントロール入力端子にミニプラグ付コードを接続すると、本機は直接にはリモコンを受け付けません。リモコンはステレオアンプのリモコン受光部に向けて操作してください。

● コントロール接続以外の接続が、デジタル入出力の接続だけの場合は、システムコントロールは正しく動作しません。**コントロール接続をする場合は、7 ページを参照して、必ず付属のオーディオコードによるライン入出力の接続も行ってください。**

接続のしかた

● 接続する機器にデジタル入出力端子がついている場合

機器の接続を行う場合、あるいは変更を行う場合には必ず電源スイッチを切り、電源コードをコンセントから抜いてください。

■ 光ファイバーケーブルの接続のしかたについては 5 ページをご覧ください。

● 接続する機器にデジタル入出力端子がついていない場合

機器の接続を行う場合、あるいは変更を行う場合には必ず電源スイッチを切り、電源コードをコンセントから抜いてください。

MJ-D5

LINE INPUT REC OUTPUT PLAY　DIGITAL INPUT OPTICAL1 OPTICAL2　DIGITAL OUTPUT OPTICAL　CONTROL IN OUT

電源コード　AC 100V　50/60Hz

「電源コードをつなぐ際のご注意」を参考にして、最後に家庭用コンセントにつないでください。

パイオニアの SR マーク付き機器と接続
(P.5 参照)

付属のオーディオコード

MD/TAPE OUT REC IN PLAY

ライン(LINE)入出力端子は、ステレオアンプの入出力端子（カセットデッキなどの録音機器をつなぐ端子）に、付属のオーディオコードで接続します。
本機のラインアウトプット(PLAY)側を、ステレオアンプの入力端子(PLAY)側に、本機のラインインプット(REC)をステレオアンプの出力端子(REC)にそれぞれ接続します。
● 接続するアンプの取扱説明書も、あわせてご覧ください。

ステレオアンプ

L 白　R 赤

オーディオコードの接続
白いプラグはL側、赤いプラグはR側につなぎます。必ず奥までしっかりと差し込んでください。

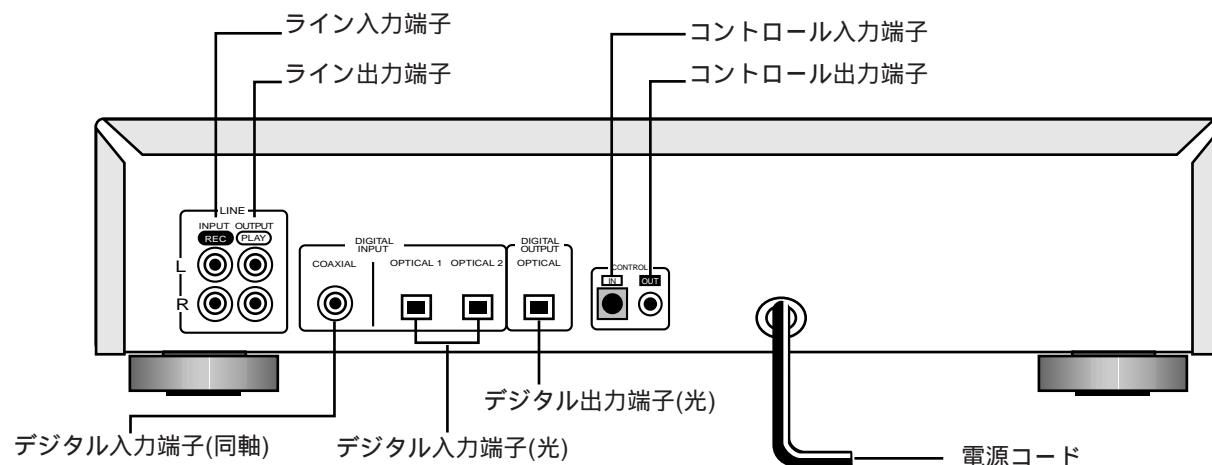
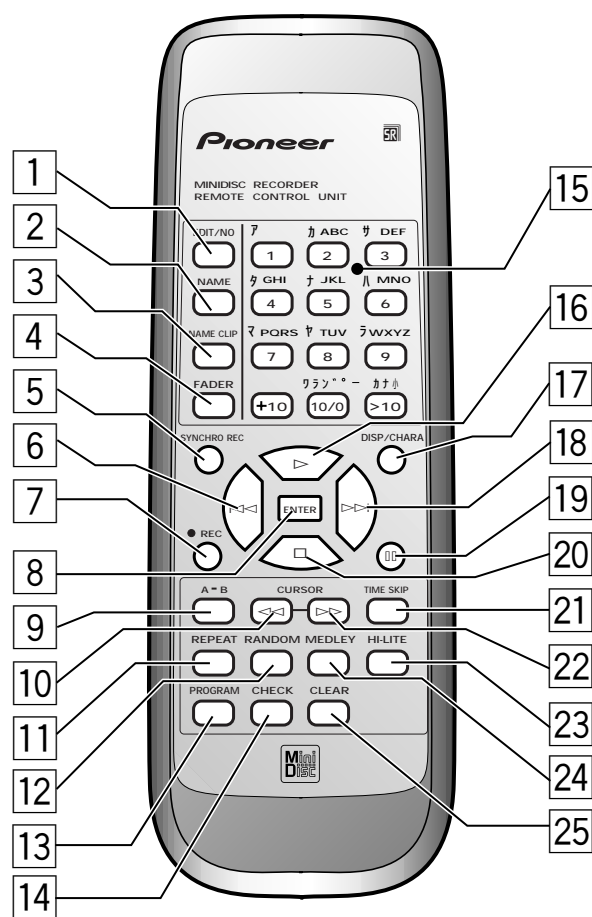
電源コードをつなぐ際のご注意：
本機の電源コードは、白線のある側をコンセントのアース（溝の長い方）に接続するように設計されています。しかし、環境によっては反対に接続した方が音質的に良い場合がありますので、ご確認の上接続してください。

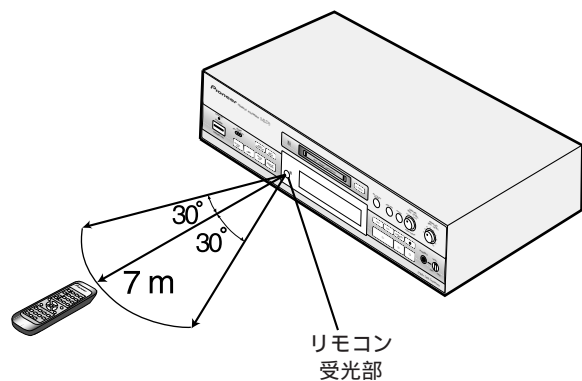
各部のなまえ

本体前面部

表示部 P.10

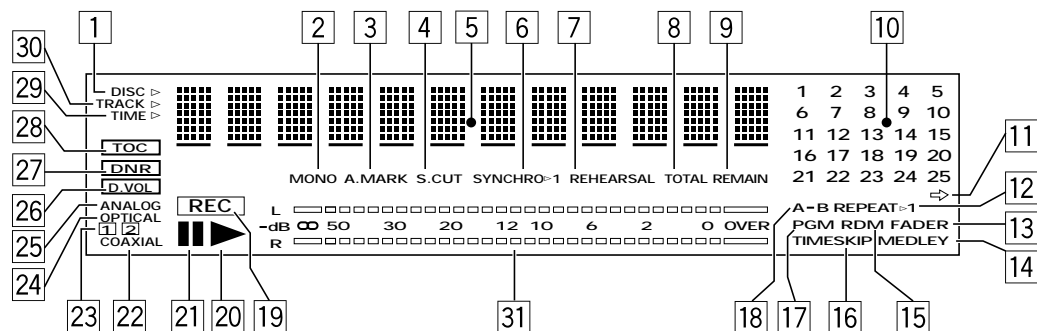
1 電源スイッチ(POWER)
2 タイマー・スイッチ(TIMER) P.25 P.29
3 入力切り換えボタン(INPUT SELECTOR) P.17 P.18 P.43
4 DAC モードボタン(DAC MODE) P.43
5 MD 挿入部
6 MD 取り出しボタン(⏏ EJETCT)
7 録音 / 演奏モードボタン(REC/PLAY MODE)
8 エディット / ノーボタン(EDIT/NO) P.33 P.35 ～ P.42
9 ネームボタン(NAME) P.31 ～ P.34
10 デジタル録音ボリューム(DIGITAL REC LEVEL) P.26 / ジョグ
11 アナログ録音ボリューム(ANALOG REC LEVEL) P.18
12 シンクロ録音ボタン(SYNCHRO REC) P.20
13 録音ボタン(●)
14 ヘッドホンボリューム
15 ヘッドホン端子(PHONES)
16 停止ボタン(■)
17 一時停止ボタン(❚❚)
18 再生ボタン(►)
19 早送りボタン(►►)
20 早戻しボタン(◄◄)
21 リモコン受光部
22 ディスプレイ / キャラクタボタン(DISPLAY/CHARA) P.15 P.19 P.31
23 ネームクリップボタン(NAME CLIP) P.34
24 A－B ボタン(A－B) P.21 P.37 P.39 P.42
25 デジタル NR ボタン(DIGITAL NR) P.16 P.19

本体後面部

リモコン

1 エディット / ノーボタン(EDIT/NO) P.33 P.35 ～ P.42
2 ネームボタン(NAME) P.31 ～ P.34
3 ネームクリップボタン(NAME CLIP) P.34
4 フェードボタン(FADER) P.23 P.25 P.29
5 シンクロ録音ボタン(SYNCHRO REC) P.20
6 頭出し（後方向）ボタン(I◀◀)
7 録音ボタン(● REC)
8 エンターボタン(ENTER)
9 Aー B ボタン(Aー B) P.21 P.37 P.39 P.42
10 早戻しボタン(◀◀)
11 リピートボタン(REPEAT) P.21
12 ランダムボタン(RANDOM) P.21
13 プログラムボタン(PROGRAM) P.22
14 チェックボタン(CHECK) P.22
15 カナ、アルファベット、数字ボタン（文字ボタン）
16 再生ボタン(▶)
17 ディスプレイ / キャラクタボタン(DISP/CHARA) P.15 P.19 P.31
18 頭出し（前方向）ボタン(▶▶I)
19 一時停止ボタン(II)
20 停止ボタン(■)
21 タイムスキップボタン(TIME SKIP) P.16
22 早送りボタン(▶▶)
23 ハイライトボタン(HI-LITE) P.24
24 メドレーボタン(MEDLEY) P.23
25 クリアーボタン(CLEAR) P.22

リモコン操作範囲

リモコンの操作可能範囲は、リモコン受光部との距離が約 7m、角度が左右約 30 度までです。

- 本体受光部との間に障害物があったり、受光部との角度が悪いとリモコン操作ができない場合があります。
- 赤外線を発射する機器の近くで使用したり、赤外線を利用した他のリモコン装置を使用したりすると、誤動作することがあります。逆に赤外線によってコントロールされる他の機器を使用時にこのリモコンを操作すると、その機器を誤動作させることがあります。
- リモコンの操作可能範囲が極端に狭くなってきたら電池を交換してください。
- 長い間（1 カ月以上）リモコンを使用しないときは、電池の液もれを防ぐために電池を取り出してください。
- 直射日光や蛍光灯の強い光が直接リモコン受光部に当たると、リモコン操作できないことがあります。そのようなときは、設置場所を変えたり、蛍光灯を離してください。

● 各部のなまえ

表示部

1 ディスク情報が表示されていることを示します。
2 モノラルでの長時間演奏、または長時間録音を示します。
3 オートマーク機能が設定されていることを示します。
4 スペースカット機能が動作していることを示します。
5 機能やネーム名が表示されます。
6 シンクロ録音を示します。
7 編集時における設定の微調整のモードを示します。
8 ディスクの総演奏時間を示します。
9 演奏または録音の残り時間を示します。
10 ディスク内の曲の番号がすべて点灯します。
11 ディスクに曲数が、26 曲以上ある場合に点灯します。
12 リピート演奏中を示します。
13 フェード機能の動作中を示します。
14 メドレー機能の動作中を示します。
15 ランダム演奏中を示します。
16 タイムスキップ機能の動作中を示します。
17 プログラム機能の動作中を示します。
18 A, B 間が設定されていることを示します。
19 録音中を示します。
20 演奏中を示します。
21 一時停止中を示します。
22 同軸デジタルの入力を示します。
23 光デジタルの入力端子番号を示します。
24 光デジタルの入力を示します。
25 アナログの入力を示します。
26 デジタルボリュームが機能していることを示します。
27 デジタル NR 機能の動作中を示します。
28 録音または編集作業が行われ、UTOCの記録がされていないことを示します。
29 時間情報が表示されていることを示します。
30 曲情報が表示されていることを示します。
31 音量レベルと録音レベルを表します。（レベルメーター）

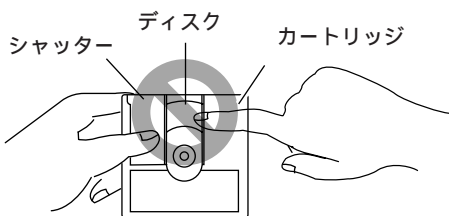
表示部の表示メッセージ	メッセージ内容
No Disc	ディスクが挿入されていないとき
Loading	ディスクが挿入されているとき
Eject	ディスクを取り出すとき
Blank Disc	挿入されているディスクに、曲がなにも入っていないとき
Power On	本体内部のメカ部が、初期設定をしているとき
Disc End	ディスクの終わりまで早送りしたとき
TOC Reading	TOC 情報を読み込んでいるとき
UTOC Writing	UTOC 情報の書き込みを行っているとき
Analog	入力切り換えボタンで、アナログ入力を選択したとき
Coaxial	入力切り換えボタンで、同軸デジタル入力を選択したとき
Optical1	入力切り換えボタンで、光デジタル入力 1 を選択したとき
Optical2	入力切り換えボタンで、光デジタル入力 2 を選択したとき
Name Over	ネームクリップ機能で、名前をコピーすると文字数が40文字を超えてしまうとき
Not Clipped	ネームクリップ機能で、記憶している名前がないのに、コピーしようとしたとき
Rehearsal	編集時において、設定の微調整のモード状態になったとき
Complete	編集作業が実行できたとき
Can't Edit	編集作業が実行できなかったとき
Din Unlock	デジタル入力において正常な信号が入力されていないとき

MD の基礎知識

MD の取り扱いかた

■ **右記マークのついたディスクをお使いください。**

⚠ 注意

- ディスクに直接触れないでください。
- シャッターを無理に開けるとこわれます。
- 分解しないでください。

[保管]

ケースに入れて保管してください。
次のようなところには保管しないでください。

- 高温多湿の場所
- 直射日光が当る場所
- 砂やホコリの入りやすい場所

[カートリッジのお手入れ]

乾いた布でホコリや汚れを軽くふき取ってください。

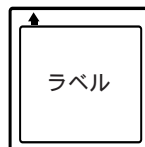
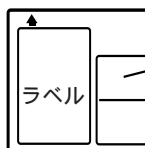
[ラベルの貼付けについて]

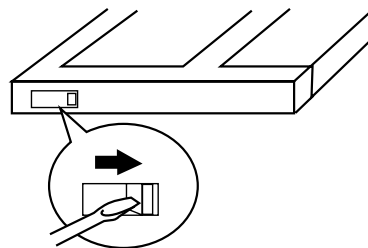
以下のことをお守りください。正しく貼られていない場合、MD が取出せなくなることがあります。

- 指定の場所（エリア内）に貼ってください。
- 重ねて貼付けないでください。
- ラベルが浮いたり、めくれたりしたら新しいラベルに貼りかえてください。

MD の種類について

再生専用と録音・再生用があります。

- 再生専用 MD（録音はできません）

- 録音・再生用 MD

録音した MD を誤消去しないために

側面にある誤消去防止つまみを開けると録音できなくなります。

再び録音や編集をしたいときは、つまみを閉じます。

注意

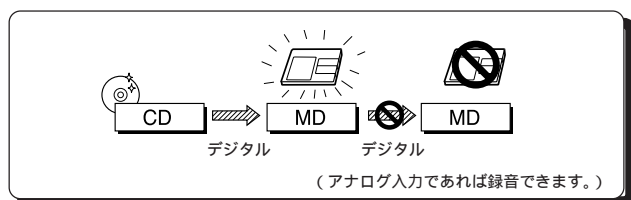
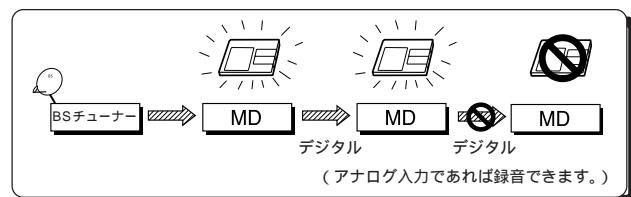
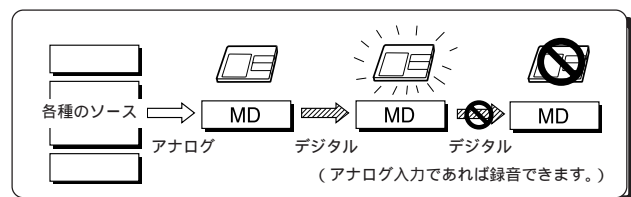
次のようなときは録音できません

- **再生専用MD（市販の音楽ソフト）に録音しようとしたとき。**
- **MD が誤消去防止状態になっているとき。**
- **MD の録音可能時間が残っていないとき。**
- **“TOC Full”が表示されたとき。** P.13 P.44
- **TOC が異常なとき。**

UTOC P.12 の記録中（“UTOC Writing”点滅中 P.10）に、電源スイッチを切ったり、電源コードを抜いたり、本体に衝撃を与えないでください。UTOCが正しく記録されず、正しい再生ができなくなることがあります。

デジタルコピーに関するご注意

デジタル入力で録音したものを、さらに別のMDやDATなどにデジタル録音（コピー）することはできません。これは、SCMSにより定められているためです。
SCMSとは、シリアルコピーマネージメントシステム(Serial Copy　Management System)の略で、デジタル信号による録音を「何世代まで」と規制している方式です。ソースによって異なりますが、オリジナルのソースから少なくとも一世代はデジタル信号で録音できます。

1. 著作権のあるCDやDATミュージックテープは一世代だけデジタル録音できます。

2. 衛星放送のデジタル信号は二世代までデジタル録音することができます。ただし、BS/CSチューナーによっては、二世代目ができないことがあります。

3. アナログ入力で録音されたディスクは、録音元のソースに係わらず一世代まで録音することができます。

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
なお、デジタル録音機器の価格には、著作権法の定めにより、私的録音補償金が含まれています。
お問合わせ先：（社）私的録音補償金管理協会
電話 03-5353-0336
FAX 03-5353-0337

本機はドルビーラボラトリーズライセンシングコーポレーションの米国及び外国特許に基づく許諾製品です。

TOCとUTOCについて

MDには、曲番や演奏時間、曲名などのディスクや曲の情報も記録されています。これをTOC(Table of Contents)（トック テーブル オブ コンテンツ）といいます。特に書き換えが可能なTOCのことを、UTOC（ユートック）(User Table of Contents)（ユーザー テーブル オブ コンテンツ）といい、本機ではディスクを取り出すときにUTOCの書き換えを行っています。また、編集機能を使ってUTOCの書き換えを行うこともできます。P.41
UTOCの書き換え中は、本体表示部に "UTOC Writing"と表示されます。

デジタル録音について

本機のデジタル録音のサンプリング周波数は44.1kHzです。他のサンプリング周波数の機器（BS/CSチューナー、DVD、DATの一部）でも32kHz、48kHzでのサンプリング周波数であれば自動的にその周波数に切り換わり、デジタル録音することができます。なお、DVDなどでデジタルコピーが禁止されている場合には、サンプリング周波数を変換してもデジタル録音はできません。また、本機では96kHzのサンプリング周波数は変換できません。このような場合にはアナログ録音に切り換えてください。

MD録音とテープ録音のちがい

- MDは片面だけの録音です。
- 録音できる場所を自動的に探して録音します。
- 録音の前に録音できる時間の残りが確認できます。P.15

曲番号について

録音すると自動的に曲番がつけられます。追加録音するたびに順に曲番が大きくなります。

デジタル録音時

- CDプレーヤーやMDレコーダーからの録音は、もとのCDやMDの曲番と同じところに1曲ごとの曲番が自動的につきます。
  ただし、もとのCDやMDの曲番号と録音されたMDの曲番号とが一致しないことがあります。
- 外部デジタル機器からの録音（CDプレーヤーやMDレコーダー以外の機器）はアナログ録音と同様にオートマーク機能 P.27 が働きます。

アナログ録音時

- オートマーク機能 P.27 が働きます。ただし雑音があるときなど、録音の内容によっては正しい位置につかないこともあります。

録音中に停電すると

何も録音されていないMDへの録音中に、電源スイッチを切ったり電源コンセントが抜けたり停電があった場合は、すみやかに電源を入れ直してください。そのままの状態で約1週間放置された場合は、その時の録音内容は全て消えてしまいます。すでに録音している MD に追加して録音していた場合は、追加していた部分が消えてしまいます。

注意

録音終了後は必ず編集機能で UTOC を書き換える P.41 か、ディスクを取り出してから、電源スイッチを切ってください。（ディスクを取り出す時に UTOC が書き換えられます。）

本機では、以下の設定値を記憶することができます

- デジタル入力の録音レベル設定値 P.26
- プログラム演奏の順番 P.22
- タイマー演奏時のフェードイン設定 P.25
- デジタル NR 設定 P.16 P.19
- オートマークの動作レベル設定値 P.27
- ステレオ / モノラル録音切り換え設定 P.28
- DAC モードの設定 P.43
- 入力切り換えの設定 P.17 P.18 P.43

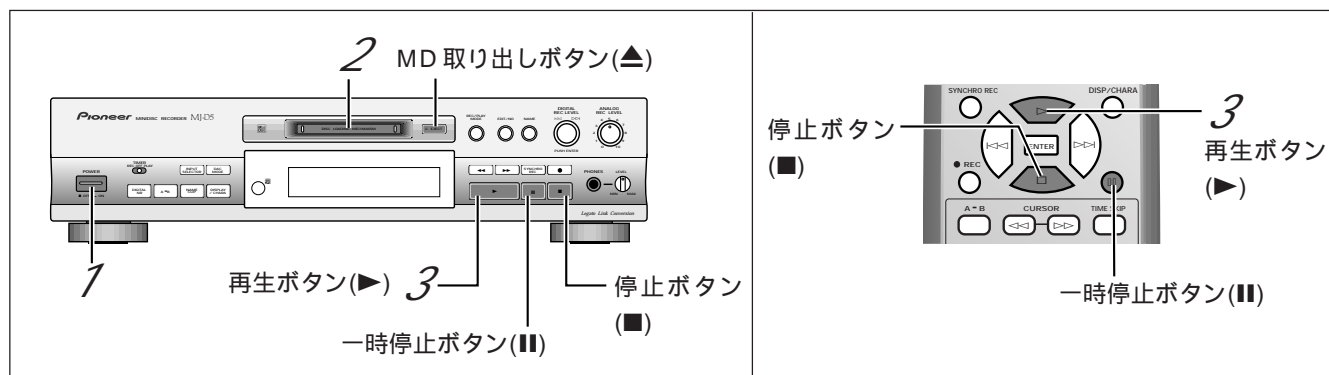
記憶した設定値をすべて初期状態（工場出荷状態）に戻すときは、停止ボタン(■)を押しながらデジタルNRボタン(DIGITAL NR)を押してください。

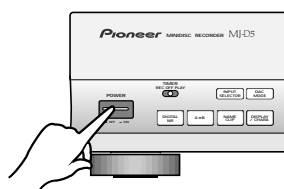
MD システム上の制約

MD は従来のカセットテープや DAT とは異なる方式で録音されます。そのため、録音方法や編集のしかたによって、次のような症状が出ることがあります。
これらは、システム上の制約によるものですので、故障ではありません。

症状	システム上の制約
MDが最大曲数（255曲）になっていないのに“ TOC Full ”が表示されることがある。	MDでは、UTOCにMD上の録音場所の区切りが登録されます。何度も部分的に消去して録音したり、編集をくり返したりすると、曲数が最大（255曲）になっていなくても、UTOCの情報がいっぱいになるので、録音できなくなります。 （このようなMDは、1曲イレース、または全曲イレース機能 P.38 を使って消去を行なえば、録音できるようになります。）
MD の最大録音時間になっていないのに、“ Disc Full ” が表示されることがある。	ディスクにキズなどがあると、その部分は自動的に録音できなくなるため録音時間が少なくなります。
短い曲を何曲消しても録音の残り時間が増えないことがある。	録音残り時間を表示するとき、12秒以下の短い曲などは曲として数えられないことがあるためです。
MDに録音した時間と録音の残り時間の合計が最大録音時間と一致しないことがある。	通常は、1クラスタ(約2秒) を録音の最小単位としていますが、これに満たない曲でも約2秒のスペースを使います。このため、表示された残り時間よりも実際に録音できる時間が少なくなることがあります。また、MD にキズなどがあると、その部分は自動的に録音不可となるため録音時間が少なくなります。（この場合、録音中に“ Defect ”と表示され、MD の曲番が自動的に増えます。）
編集で曲と曲とをつなげないことがある。	録音・編集を繰り返して行ったMDでは、コンバイン機能を使えないことがあります。また、以下の場合も曲と曲をつなげることができません。 ・デジタル入力から録音した曲（CD や MD など）と、アナログ入力から録音した曲。 ・ステレオ録音した曲と、モノラルで長時間録音した曲。
録音された曲を早戻し／早送りすると、音がとぎれることがある。	録音・編集をくり返して行ったMDでは、早戻し／早送り中に音がとぎれることがあります。

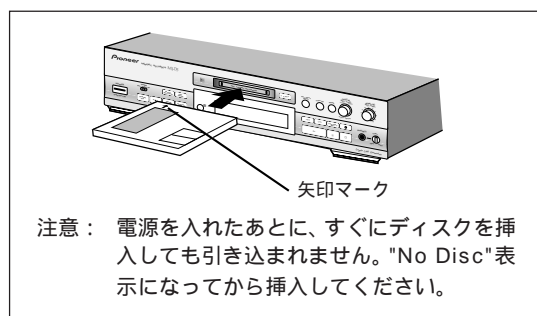
簡単に楽しんでいただくために

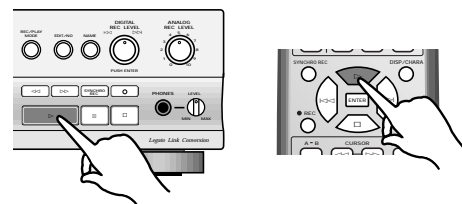
MDを聞く

1. 電源を入れる。

本体の電源スイッチを押します。

2. MDを入れる。

ラベルを上にして、矢印の方向へ**水平にゆっくり**入れます。途中から自動的に引き込まれます。
表示部に"Blank Disc"と表示されたときは、ディスクには何も記録されていないので、他のディスクと取り換えてください。

矢印マーク

注意：　電源を入れたあとに、すぐにディスクを挿入しても引き込まれません。"No Disc"表示になってから挿入してください。

3. 演奏を始める。

再生ボタン(▶)を押します。

- 曲名が入力されたMDの場合は、曲名がスクロール表示されます。(ネームの文字数が12文字以内の場合は、スクロールされません。)
曲名が入力されていない場合は"No Name"と表示したあと、演奏曲の演奏時間が表示されます。

■ 一時停止するには

演奏中に、一時停止ボタン(❚❚)を押す。

■ 一時停止を解除するには

再生ボタン(▶)、または一時停止ボタン(❚❚)を押す。

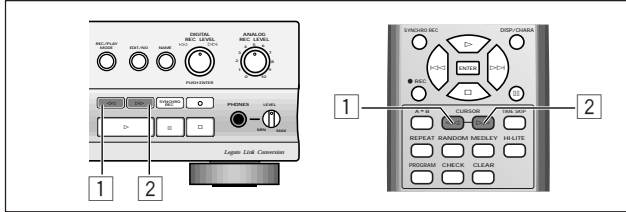
■ 停止するには

停止ボタン(■)を押す。

■ ディスクを取り出すには

MD取り出しボタン(⏏)を押す。

早送り・早戻しをする

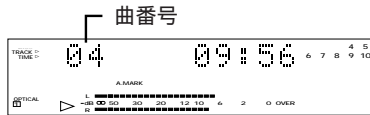
演奏を聞きながら、曲の早送り・早戻しができます。曲中の聞きたいところを探すのに便利です。

1 早戻しをするには

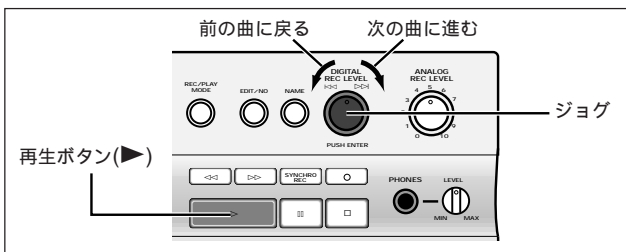
演奏中に、早戻しボタン（◀◀）を押し続けます。

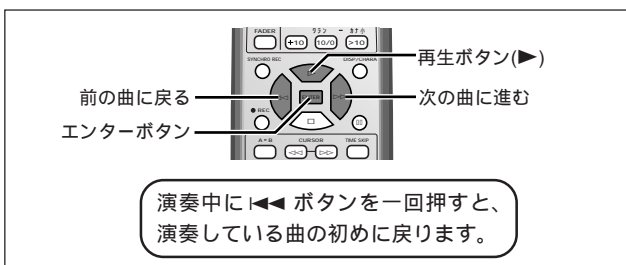
2 早送りをするには

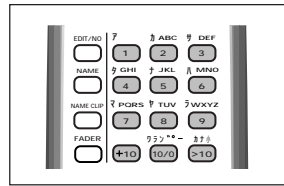
演奏中に、早送りボタン（▶▶）を押し続けます。

曲の頭出しをする

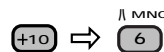
表示部の曲番号を見ながら、曲の頭出しが簡単にできます。

■ 本体で操作する

表示部の曲番号を見ながら、ジョグを回します。曲番号を出したあと、再生ボタン(▶)またはジョグを押すと演奏を始めます。
最終曲番の時、次の曲に進むと1曲目になります。また、1曲目の時、前の曲に戻ると最終曲番になります。

■ リモコンで操作する

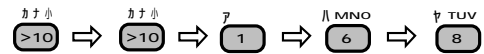
表示部の曲番号を見ながら、◀◀または▶▶ボタンを押します。押した回数だけ曲を飛び越します。曲番号を出したあと、再生ボタン(▶)またはエンターボタンを押すと演奏を始めます。

聞きたい曲を直接選ぶ(ダイレクト選曲)

聞きたい曲の曲番号をリモコンで選ぶと、その曲から演奏を始めます。

例） 8曲目を聞きたいとき

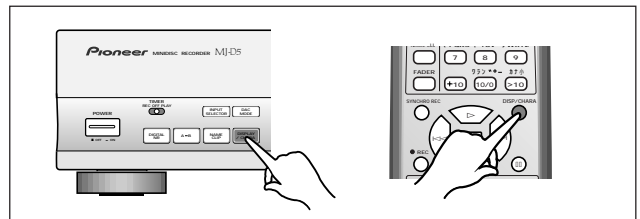
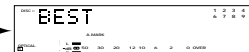
曲番の数字を直接押すと、演奏を始めます。

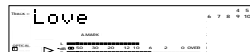
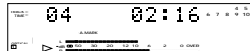
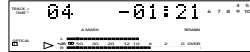
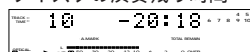
例） 16曲目を聞きたいとき

+10 ⇨ 6　順に押していくと演奏を始めます。

例） 168曲目を聞きたいとき

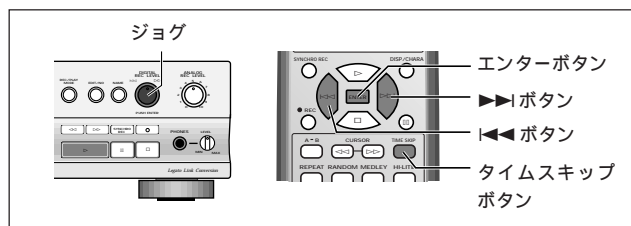
>10 ⇨ >10 ⇨ 1 ⇨ 6 ⇨ 8

順に押していくと演奏を始めます。

表示を切り換える（演奏中/停止中）

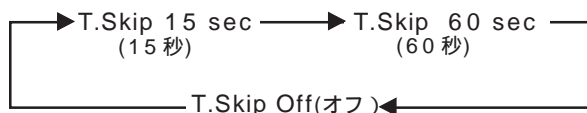
ディスプレイ/キャラクタボタンを押す。

押すごとに以下のように切り換わります。

＊曲番号を選択している場合
●曲のネーム表示
↓
●選択曲の総演奏時間
↓
●ディスクの総録音時間
↓
●録音可能な残り時間
の表示となります。

基本操作

● 簡単に楽しんでいただくために

より高速に早送り・早戻しをする（タイムスキップ機能）

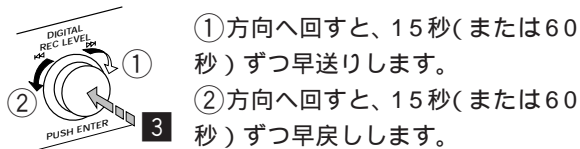
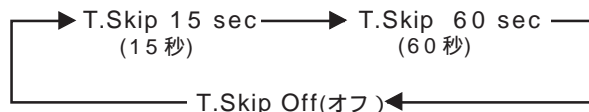
15秒または60秒単位で、曲を進めたり戻したりすることができます。例えば、コマーシャルのように30秒単位で作られているものは、この機能を使えばすばやく早送りすることができます。ランダム演奏中とプログラム演奏中は、タイムスキップ機能を動作させることができません。

■ リモコンで操作する

演奏中にタイムスキップボタンを押す。
表示部に、"TIME SKIP"が点灯します。
▶▶|ボタンを押すと、15秒（または60秒）ずつ早送りします。
|◀◀ボタンを押すと15秒（または60秒）ずつ早戻しします。

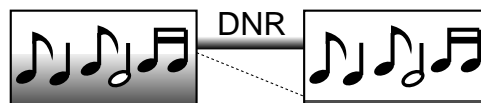
早送り・早戻しする時間を切り換えるには
エンターボタンを押すと、次のように切り換わります。

タイムスキップ機能を取り消すには
エンターボタンを押して"T.Skip　Off"を選ぶか、タイムスキップボタンを押します。

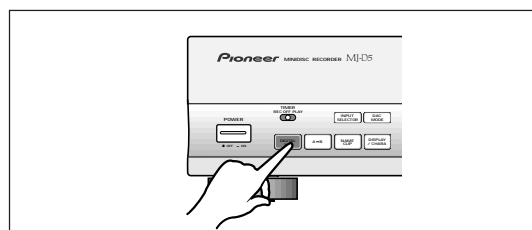
■ 本体で操作する

演奏中にジョグを押す。
表示部に、"TIME SKIP"が点灯します。

①方向へ回すと、15秒（または60秒）ずつ早送りします。
②方向へ回すと、15秒（または60秒）ずつ早戻しします。

早送り・早戻しする時間を切り換えるには
ジョグを 3 方向へ押すと、次のように切り換わります。

タイムスキップ機能を取り消すには
本体のジョグを押して"T.Skip　Off"を選びます。

雑音を減らして演奏する（デジタルNR機能）

デジタルNR機能（DIGITAL NR）を動作させると、演奏時に人の耳に聞こえるノイズを低減することができます。

1. デジタルNRボタンを押す。

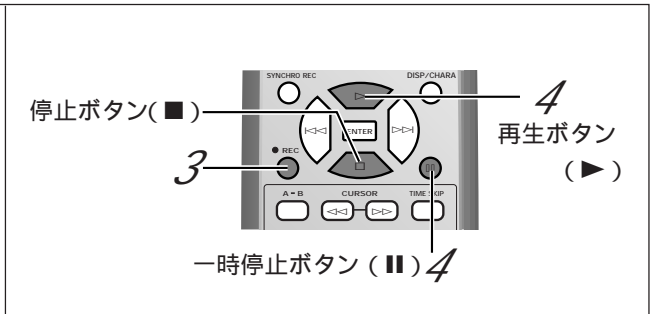
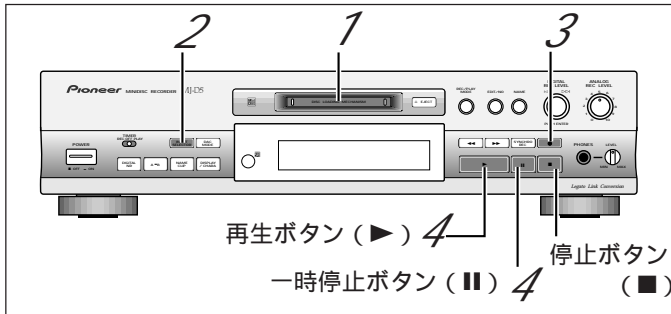
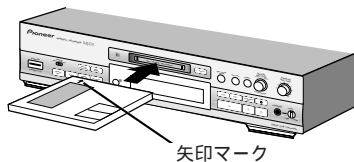
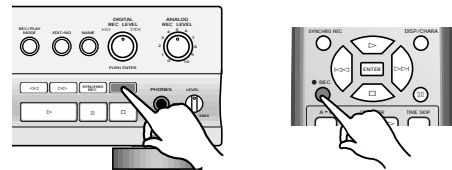
表示部に DNR が点灯します。

2. デジタルNR機能を解除するには

もう一度デジタルNRボタンを押します。表示部の DNR が消えます。

注意

- デジタルNR機能を使っても次のような場合は、ノイズが低減されないケースがあります。
  - ・突発的なノイズ
  - ・極端に大きなノイズ
  - ・AM放送などの高域成分をあまり含まない信号
- デジタルNRの設定は記憶されます。

MD にデジタル録音する

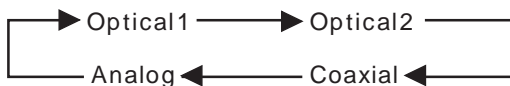
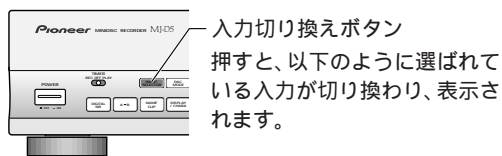
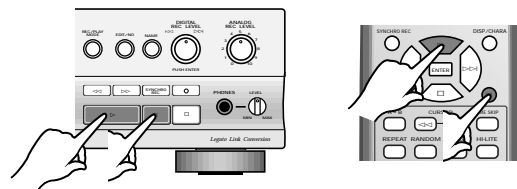
MD に録音する場合は、すでに録音されている内容の後へ自動的に録音されます。
ですからカセットテープのように、録音する前に頭出しをする必要はありません。
録音をした後は表示部に TOC が点灯しますので、電源を切る前にディスクを取り出すか、MD 編集機能の「UTOC を書き換える」 P.41 を参照して、必ず UTOC の記録を行ってください。もし、UTOC の記録をしないまま電源を切って約 1 週間放置しますと、新しく録音した内容は全て消えてしまいます。

1. 録音可能な MD を入れる。

ラベルを上にして、矢印の方向へ**水平にゆっくり**入れます。途中から自動的に引き込まれます。

2. 入力切り換えボタンを押して、入力を選ぶ。

デジタル録音の場合は、"Optical1"、"Optical2"、または "Coaxial" に接続してある機器を選びます。

表示部に、"MONO" と点灯しているとモノラル長時間録音になります。ステレオ録音にする場合は、 P.28 を見てください。

3. 録音ボタン（●）を押す。

録音の一時停止状態になります。

4. 再生ボタン（▶）、または一時停止ボタン（II）を押して録音を始める。

5. 手順 2 で選んだ入力の演奏を始める。

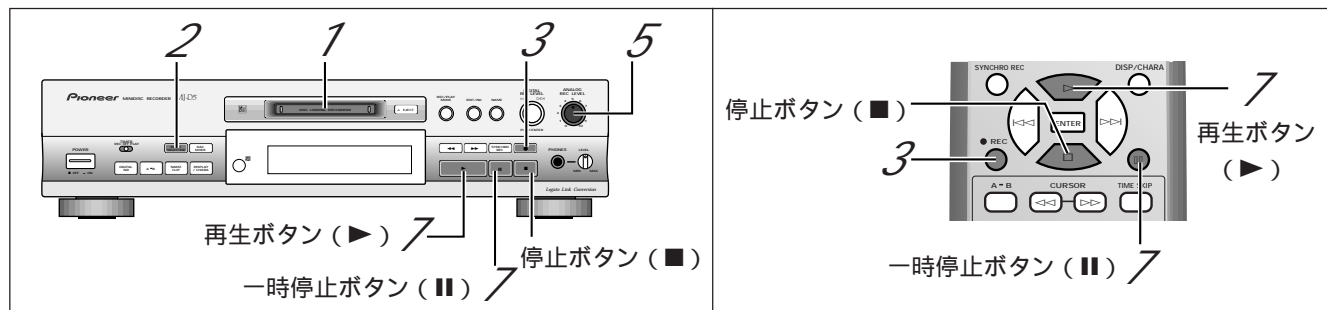
■ 録音を止めるには

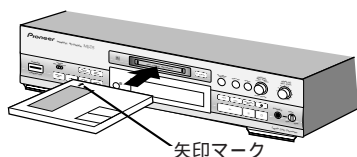
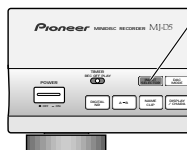
停止ボタン（■）を押す。

■ 録音を一時停止するには

一時停止ボタン（II）を押す。録音の一時停止をすると、曲番号が 1 つ増えます。
録音を再開するには、もう一度一時停止ボタンを押します。

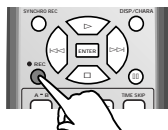
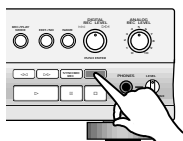
MD にアナログ録音する

MD に録音する場合は、すでに録音されている内容の後へ自動的に録音されます。
ですからカセットテープのように、録音する前に頭出しをする必要はありません。
録音をした後は表示部に TOC が点灯しますので、電源を切る前にディスクを取り出すか、MD 編集機能の「UTOC を書き換える」 P.41 **を参照して、必ず UTOC の記録を行ってください。録音した後、UTOC を記録しないで電源を切って、約 1 週間放置しますと、録音した内容は全て消えてしまいます。**

1. 録音可能な MD を入れる。

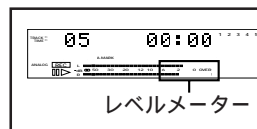
ラベルを上にして、矢印の方向へ**水平にゆっくり**入れます。途中から自動的に引き込まれます。

2. 入力切り換えボタンで、"ANALOG" を選ぶ。

入力切り換えボタン
押すと、選ばれている端子が切り換わり、表示されます。

表示部に、"MONO" と点灯しているとモノラル長時間録音になります。ステレオ録音にする場合は、 P.28 **を見てください。**

3. 録音ボタン（●）を押す。

録音の一時停止状態になります。

4. 録音レベルを調整するため、音声入力端子に接続されている機器の演奏を始める。

5. アナログ録音ボリュームを回して、録音レベルを調整する。

本体表示部のレベルメーターが、OVER 位置まで振れないように調整します。

最も大きなレベルのときが、-6dB から 0dB の間に振れるように調整します。

6. 音声入力端子に接続されている機器の演奏を止める。

録音したい曲の頭出しを行っておきます。

7. 再生ボタン（▶）、または一時停止ボタン（II）を押して録音を始める。

8. 録音を開始するため、音声入力端子に接続されている機器の演奏を始める。

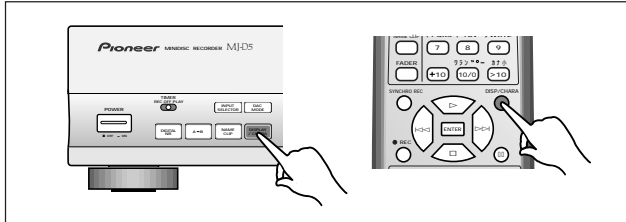
■ 録音を止めるには

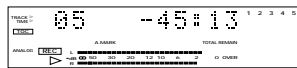
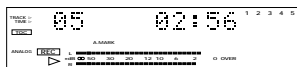
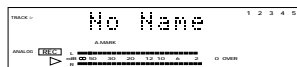
停止ボタン（■）を押す。

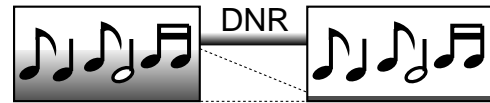
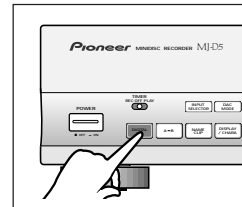
■ 録音を一時停止するには

一時停止ボタン（II）を押す。録音の一時停止をすると、曲番号が 1 つ増えます。
録音を再開するには、もう一度一時停止ボタンを押します。

表示を切り換える（録音中）

ディスプレイ / キャラクタボタンを押す。

押すごとに以下のように切り換わります。

[録音中または録音一時停止中]

- 録音可能な残り時間
- 録音している曲の録音経過時間
- ネーム表示

雑音を減らして録音する（デジタル NR 機能）

デジタル NR 機能（DIGITAL NR）を動作させせると、録音時に聴感上のノイズを低減することができます。

1. デジタル NR ボタンを押す。

本体表示部の DNR が点灯します。

2. 通常の録音操作を行なう。

- デジタル録音の場合、17 ページの操作手順。
- アナログ録音の場合、18 ページの操作手順。

■ デジタル NR 機能を解除するには

録音を一時停止してから、デジタル NR ボタンを押します。本体表示部の DNR が消えます。

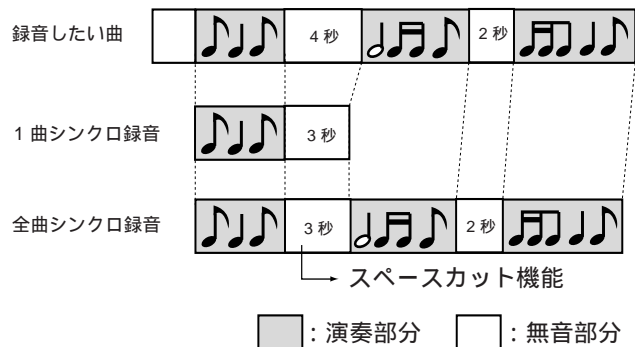
注意

- デジタル NR 機能を使った録音は、デジタル録音でもアナログ録音でも可能です。
- デジタル NR 機能を使っても次のような場合は、ノイズが低減されないケースがあります。
  - ・突発的なノイズ
  - ・極端に大きなノイズ
  - ・AM 放送などの高域成分をあまり含まない信号
- 録音中にデジタル NR 機能のオン / オフを操作すると、音が途切れて録音されます。
- デジタル NR の設定は記憶されます。

● 簡単に楽しんでいただくために

入力の音に反応して自動的に録音を開始する（シンクロ録音）

シンクロ録音を行うと、録音したい曲の音量を検知して、自動的に録音を始めたり、一時停止したりします。ただし、本機ではシンクロ録音時に一時停止状態のまま約30分経過すると、MD保護のために停止状態になり、シンクロ録音は解除されます。シンクロ録音には次の2種類があります。

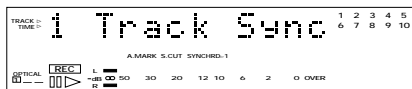
- **1曲シンクロ録音**
  一曲のみ自動的に録音し、演奏が終了すると自動的に録音を停止します。
- **全曲シンクロ録音**
  全曲が終了するまでシンクロ録音を繰り返します。全曲シンクロ録音の場合、3秒間以上無音部分が続くと録音は一時停止状態になり、再び演奏が再開すると自動的に録音を始めます。
  （スペースカット機能）

1. 録音の準備をする。

- デジタル録音の場合、17ページ手順1～2。
- アナログ録音の場合、18ページ手順1～6。

再生側の機器が停止または一時停止状態であることを確認してください。

2. シンクロ録音ボタンを押す。

押すごとに1曲シンクロ録音と全曲シンクロ録音が交互に切り換わります。

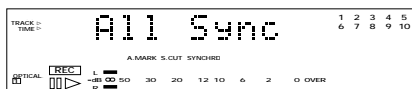
● 1曲シンクロ録音の状態

● 全曲シンクロ録音の状態

シンクロ録音を解除するには、停止ボタン(■)を押します。

3. 再生側の機器の演奏を始める。

自動的に録音が始まります。

注意

- シンクロ録音中にリモコンのフェードボタンを押す（フェードアウト録音にする）と、シンクロ録音が解除されます。続けてシンクロ録音を行う場合は、設定しなおしてください。

いろいろな演奏のしかた

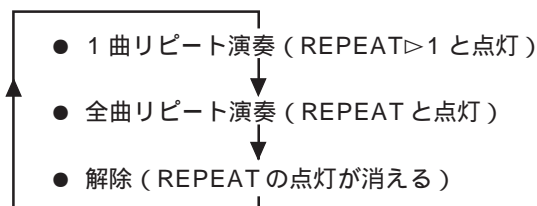
繰り返し演奏する（リピート演奏）

1 曲だけを繰り返して演奏したり、全曲を繰り返して演奏したりします。また、指定した A, B 点間での繰り返し演奏もできます。

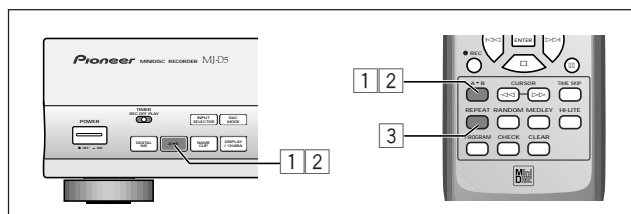
＊リモコンのみの操作となります。

リピートボタンを押す。

押すごとに以下のように切り換わります。

- 1 曲リピート演奏（REPEAT▷1 と点灯）
- 全曲リピート演奏（REPEAT と点灯）
- 解除（REPEAT の点灯が消える）

停止中に停止ボタン(■)を押しても、リピート演奏を解除できます。

■ 指定した A, B 点間で繰り返し演奏をする（A-B リピート）

繰り返し聞きたい部分の開始点 A と終止点 B を選びます。

1 **開始点 A を設定する。**

演奏を聞きながら、繰り返したい開始点で A-B ボタンを押します。開始点 A が設定されます。
("A-" と点灯)

2 **終止点 B を設定する。**

演奏を聞きながら、繰り返したい終止点で A-B ボタンを押します。終止点 B が設定されます。
この状態で再度 A-B ボタンを押すと、押した位置に終止点 B が変更されます。("A-B" と点灯)

3 **リピートボタンを押す。**(リモコンのみの操作)

A-B リピートが始まります。
("A-B REPEAT" と点灯)

- もう一度リピートボタンを押すと解除され、その曲のはじめに戻って演奏を始めます。
- 演奏を停止すると、A, B 間の設定は解除されます。

順不同に演奏する（ランダム演奏）

MD の全曲を無作為（ランダム）に並べ変えて、1 回ずつ演奏します。

＊リモコンのみの操作となります。

演奏中または停止中に、ランダムボタンを押す。

表示部に "RDM" が点灯し、ランダム演奏が始まります。

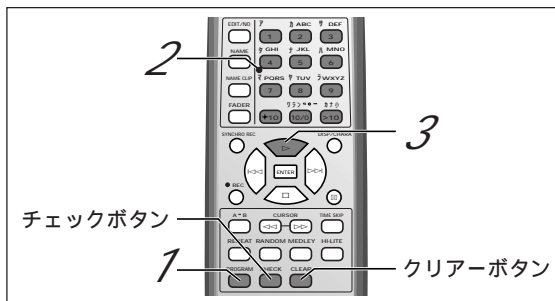
■ ランダム演奏を解除するには

停止ボタン（■）を押す。

- ランダム演奏中にリピートボタンを押すと、ランダム演奏を繰り返し続けます。
- ランダム演奏中にメドレーボタンを押すと、ランダム演奏は解除され、メドレー演奏となります。

聞きたい曲を聞きたい順番で聞く（プログラム演奏）

聞きたい曲を選び、自分の好きな順番で演奏することができます。

■ リモコンで操作します

1. 停止中に、プログラムボタンを押す。

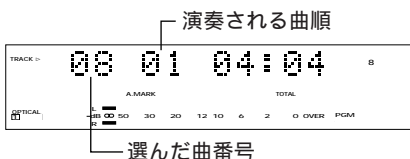
2. 聞きたい順に曲番号を選ぶ。

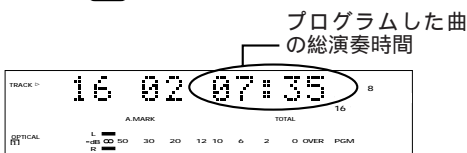
30曲までの登録となります。30曲を超えて登録すると "PGM Full" と表示されます。

■ 文字ボタンを使用する

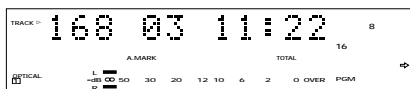
聞きたい曲の番号を押します。

● 8曲目を選ぶとき

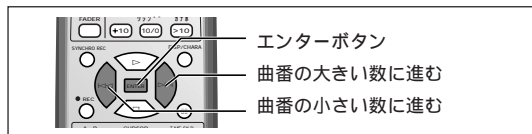
曲番の数字を直接押します。

● 次に16曲目を選ぶとき

+10 ⇨ 6 順に押します。

● 次に168曲目を選ぶとき

>10 ⇨ >10 ⇨ 1 ⇨ 6 ⇨ 8

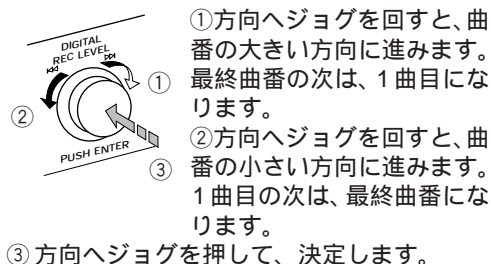
順に押します。

選んだ順番に曲が登録されます。

■ 頭出しボタンを使用する

1 表示された曲番号を見ながら、⏮ボタン、または ⏭ボタンを押して目的の曲番を選ぶ。

2 ENTER か PROGRAM を押す。

3 続けて曲を選ぶには、手順 1, 2 を繰り返します。

本体のジョグでも登録することができます。

①方向へジョグを回すと、曲番の大きい方向に進みます。最終曲番の次は、1曲目になります。
②方向へジョグを回すと、曲番の小さい方向に進みます。1曲目の次は、最終曲番になります。
③方向へジョグを押して、決定します。

3. 再生ボタン(►)を押して、演奏を始める。

● リピートボタンを押すと、プログラム演奏を繰り返し続けます。
（プログラムリピート演奏）

■ プログラムを取り消すには

● 選んだ曲をすべて取り消す場合
停止中に、停止ボタン(■)を押す。
または、MD取り出しボタン(⏏)で、ディスクを取り出す。

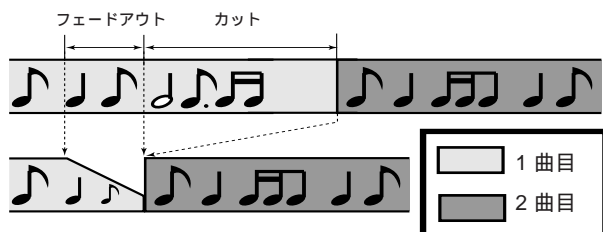
● 1曲ずつ取り消す場合
停止中にクリアーボタンを押すと、最後に登録した曲から順に消えていきます。

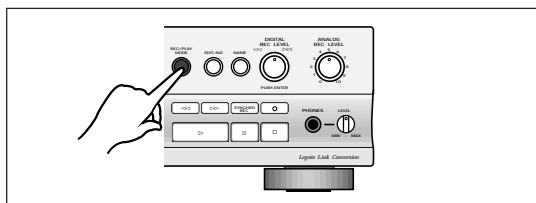
■ プログラムの内容を確認するには

停止中にチェックボタンを押すごとに、曲番号と曲順が順次表示されます。

電源スイッチを切っても、登録したプログラムの内容は記憶されます。

ディスクの全曲をつなげて演奏する（メドレー演奏）

ディスク内の全曲が、ひとつの曲の様につながって聞こえるように演奏します。具体的には，曲のエンディング部分（終わりの約10秒間）をカットして新しい曲とのつなぎ目の部分を、フェードアウトでつなぎます。

■ 本体で操作する

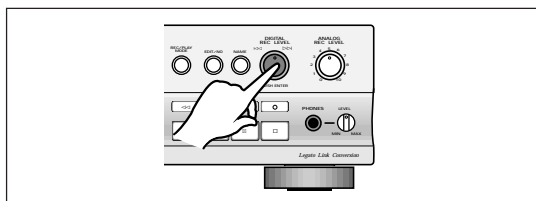
1. 録音 / 演奏モードボタンを押す。

2. ジョグを回してメドレー演奏選択モードを選ぶ。

現在設定されている状態が表示されます。

● メドレー演奏がオンの状態

● 通常演奏の状態（オフ）

作業を中止する場合は、録音 / 演奏モードボタンまたは停止ボタン(■)を押してください。

3. ジョグを押してオン、オフを切り換える。

4. 再生ボタン(►)を押して、演奏を始める。

■ 本体の操作でメドレー演奏を解除するには

手順1,2の操作を行い、手順3でジョグを押して、通常演奏の状態を選びます。また、停止ボタン(■)を押しても同じ操作ができます。

■ リモコンで操作する

メドレーボタンを押して、オン / オフを切り換えます。

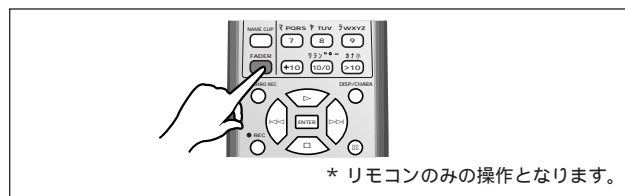
注意： メドレー演奏中に以下のボタンを押すと、メドレー演奏は解除され、それぞれの演奏を始めます。
タイムスキップボタン（または本体のジョグ）。
ハイライトボタン。ランダムボタン。

演奏を徐々にはじめたり終わりにしたりする（フェード演奏）

小さな音から徐々に音量を上げて演奏を始めることをフェードインといいます。また、徐々に音量を下げて演奏が終わることをフェードアウトといいます。本機では、フェードインとフェードアウトを曲の好きな場所に設定することができます。フェードインとフェードアウトにかかる時間は、約5秒間です。

■ フェードインをするには

一時停止中に、フェードボタンを押す。

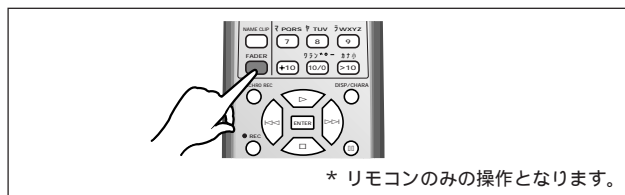
表示部に、"FADER"が点滅し、一時停止していた場所からフェードイン演奏が始まります。

＊リモコンのみの操作となります。

■ フェードアウトをするには

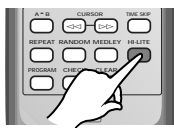
演奏中に、フェードボタンを押す。

表示部に、"FADER"が点滅し、演奏中の曲をフェードアウトで終了した後、一時停止します。

＊リモコンのみの操作となります。

演奏する

ディスクの中の曲をすばやく探す（ハイライトスキャン）

ディスクに録音されている各曲の初めから 1 分後を約 10 秒づつ、次々に全曲演奏します。これにより、ディスクの中の目的の曲を、すばやく探すことができます。

演奏中または停止中に、ハイライトボタンを押す。

＊リモコンのみの操作となります。

"Hi - Lite"と表示され、ハイライトスキャンが始まります。

■ 通常演奏に戻るには

聞きたい曲のところで再生ボタン(▶)を押すと、ハイライトスキャンは取り消され、その曲の初めから通常演奏を始めます。

注意

- 1分より短い曲は、曲の初めから約10秒間演奏します。また、1曲が10秒よりも短い場合は、曲の初めから終わりまで演奏を行います。
- プハイライトスキャンを開始すると、以下の演奏は解除されます。
  フェード演奏、タイムスキップ、リピート演奏、プログラム演奏。また、プログラム演奏においては、プログラムした内容も消えます。
- ハイライトスキャン中には、リピート演奏はできません。

2 倍速早聞き演奏をする

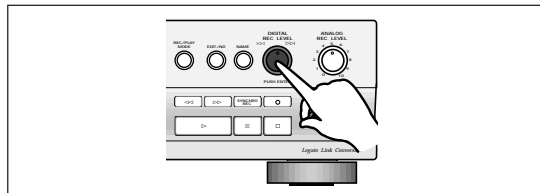
モノラル長時間録音された MD を、2 倍速で聞くことができます。ランダム演奏、ハイライトスキャン、メドレー演奏、リピート演奏中は、2 倍速早聞き演奏はできません。

1. モノラル長時間録音された MD の演奏中に、録音 / 演奏モードボタンを押す。

2 倍速早聞き演奏の選択モードになります。

● 通常演奏の状態

● 2 倍早聞き演奏の状態

2. ジョグを押して 2 倍速早聞き演奏の状態に切り換える。

■ 2 倍速早聞き演奏を一時停止するには

演奏中に、一時停止ボタン(II)を押す。
もう一度押すと、2 倍速早聞き演奏を再開します。

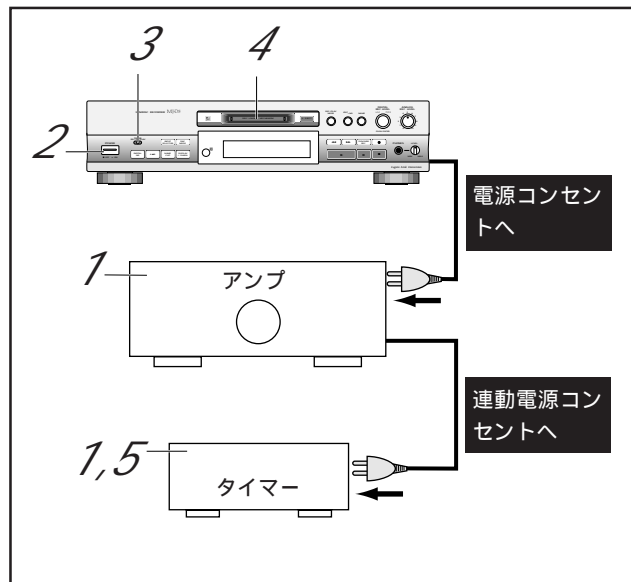
■ 2 倍速早聞き演奏中に通常演奏に戻すには

手順 *1,2* の操作を行い、再度設定し直してください。

注意

- 2倍速早聞き演奏の場合、録音内容によっては、聞き取りにくくなることがあります。
- 2 倍速早聞き演奏中に、ステレオ録音された曲番になったときには解除されます。また、ハイライトボタン、ランダムボタン、メドレーボタン、リピートボタンを押しても解除されます。
- 停止ボタン(■)を押すと、演奏が停止し、2 倍速早聞き演奏が解除されます。

タイマーを使って指定した時刻に演奏をする

市販のタイマーを使うと、指定した時刻に演奏をはじめることができます。この操作を行うときは、タイマーやアンプの取扱説明書もあわせてご覧ください。

1. **タイマーおよびアンプの電源を入れる。**

2. **本機の電源を入れる。**

3. **本機のタイマー・スイッチを“ PLAY ”側に切り換える。**

4. **聞きたいディスクを入れる。**

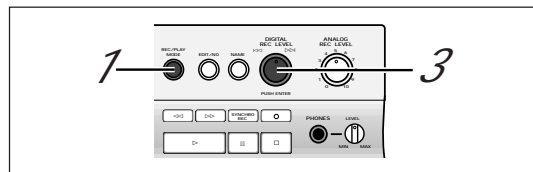
- プログラム演奏で聞くときは、P.22 の手順で聞きたい曲順に登録する。
- フェード演奏をセットしておくと、タイマー演奏が始まるときに、フェードイン動作が働きます。なお、タイマー時のフェード演奏は、このページの「タイマーを使ってフェードイン演奏をする」の手順でセットしてください。

5. **タイマーを設定する。**

タイマーに接続された機器の電源が切れます。

タイマーを使ってフェードイン演奏をする

市販のタイマーを使って指定した時刻に演奏をするときに、小さな音から徐々に音量を上げながら演奏を始める（フェードイン演奏）ことができます。
設定したフェードイン演奏の設定は、記憶されます。

■ 本体で操作するには

1. **停止中に録音/演奏モードボタンを押す。**

2. **ジョグを回してフェードイン演奏の選択モードを選ぶ。**

フェードイン演奏の選択モード

● フェードイン演奏がオンの状態

● フェードイン演奏がオフの状態

3. **ジョグを押してオン､オフを設定する。**

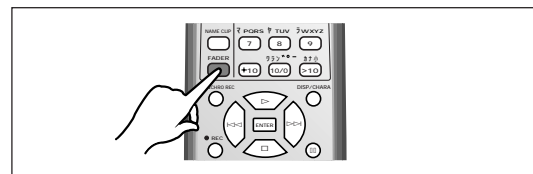
オンにすると､表示部に"FADER"が点灯し､フェードイン演奏がオンになったことを知らせます。

作業を中止する場合は､停止ボタン(■)を押してください。

4. **「タイマーを使って指定した時刻に演奏する」の操作を行う。**

■ リモコンで操作するには

1. **停止中に、フェードボタンを押す。**

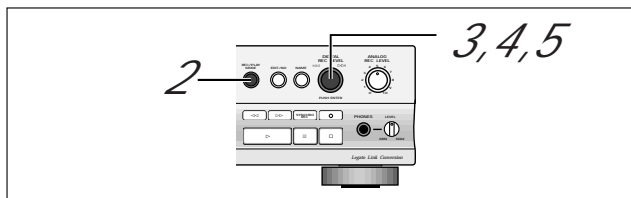
表示部に"FADER"が点灯し､フェードイン演奏がオンになったことを知らせます。

フェードイン演奏をオフにする場合は、もう一度フェードボタンを押してください。

2. **「タイマーを使って指定した時刻に演奏する」の操作を行う。**

演奏する

いろいろな録音のしかた

デジタル入力の録音レベルを調整する（デジタルボリューム機能）

- デジタル録音の場合、通常はデジタル入力の録音レベルを調整する必要はありませんが、本機では調整することができます。
  例えば、衛星放送をデジタル録音する場合、市販のCDよりも音量レベルが約6dB小さいので、大きく調整します。また、音量レベルが小さいMDやCDなどからデジタル録音するときにも調整します。
- デジタル入力の録音レベル設定は、録音用のMDが挿入されていなくても設定できます。
- デジタル入力の録音レベルの調整は、デジタルの各入力端子ごとに設定することができます。

1. **入力切り換えボタンを押して、調整する入力を選ぶ。**

2. **録音 / 演奏モードボタンを押す。**

"Digital vol." と表示されます。

3. **デジタル録音ボリュームを押す。**

表示が "D.vol 0dB"（初期値)に変わります。
作業を中止する場合は、録音/演奏モードボタンを押します。

4. **デジタル録音ボリュームを回して、デジタル入力の録音レベルを調整する。**

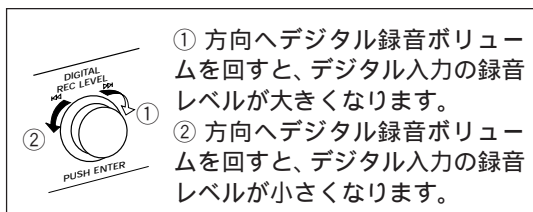
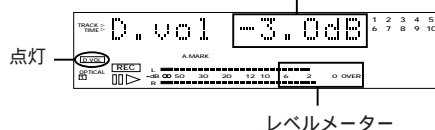
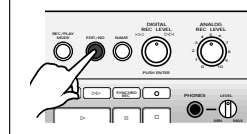
アナログ録音ボリュームでは調整できません。
調整範囲は、+12dB～0dB～－48dBの範囲内です。0dBが初期値となります。
音量レベルが初期値である0dB以外に調整されると、表示部に D.VOL が点灯します。

- **録音中または録音一時停止中のときには**
  最も大きなレベルのとき、レベルメーターが –6dBから0dBの間に振れるように調整します。

デジタル入力の録音レベルを表わします。

点灯

レベルメーター

① 方向へデジタル録音ボリュームを回すと、デジタル入力の録音レベルが大きくなります。
② 方向へデジタル録音ボリュームを回すと、デジタル入力の録音レベルが小さくなります。

調整したデジタル入力の録音レベルは、各入力端子ごとに記憶されます。

デジタル入力の録音レベルを0dB（初期値）に戻すには、エディット/ノーボタンを押します。

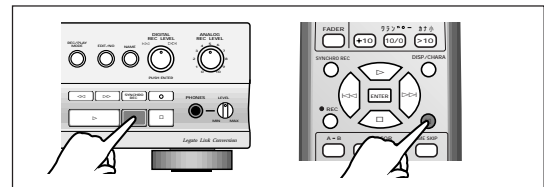
5. **録音 / 演奏モードボタンを押して作業を終了する。**

デジタル録音ボリュームを押しても、同じ操作ができます。

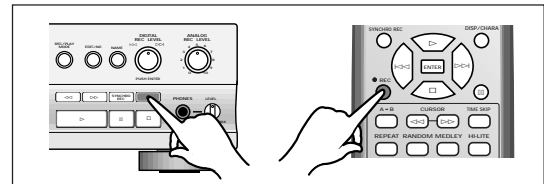
録音されている曲の途中から録音する

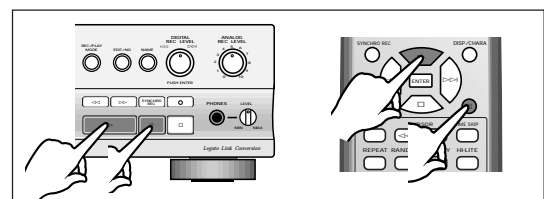
すでに録音されている曲の途中から、新たに録音することができます。ただし新しく録音を始めた位置以降の曲は、すべて消えてしまいますので、ご注意ください。

1. **演奏中に一時停止ボタン（II）を押す。**

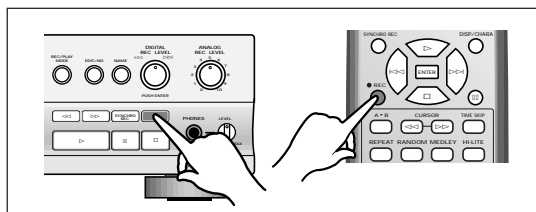
演奏を聞きながら、録音をはじめる場所がきたら、一時停止ボタンを押します。

2. **録音ボタン（●）を押す。**

上書き録音の確認画面になります。

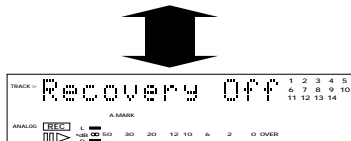
Overwrite

録音を取り消す場合は停止ボタン(■)を押してください。ジョグやリモコンのエンターボタンを押さないでください。

3. **再生ボタン（▶）または一時停止ボタン（II）を押して、録音を始める。**

6 秒前の音から録音を開始する（リカバリー録音）

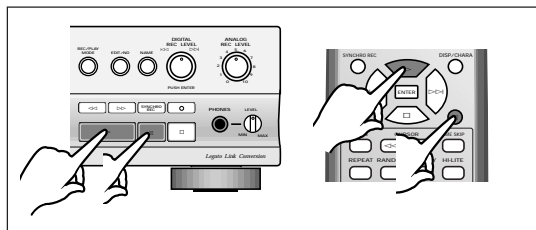
リカバリー録音では、録音を開始した時点より 6 秒前の部分から録音されます。ですから、操作遅れによって曲が切れて録音されてしまうことを未然に防止（リカバリー）します。
ラジオ放送の録音などでは、録音したい曲が演奏されたことを確認してから、6秒以内にリカバリー録音を始めると、曲が切れて録音されることはありません。

1. 録音ボタン（●）を 2 回押す。

リカバリー録音の一時停止中になります。録音ボタン（●）を押すごとに、リカバリー録音と通常の録音とが交互に切り換わります。

リカバリー録音がオンの状態

Recovery Off

リカバリー録音がオフの状態（通常の録音状態）

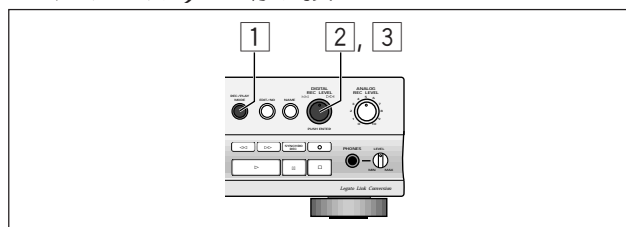
録音一時停止状態になってから 6 秒以上経過したあとで、手順 2 に進んでください。

2. 再生ボタン（▶）または一時停止ボタン（II）を押して、録音を始める。

■ リカバリー録音を解除するには

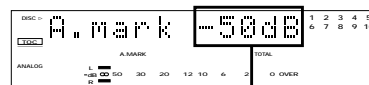
停止ボタン(■)を押します。
（一時停止の場合は、再び録音を始めたときもリカバリー録音になります。）

曲番を付ける（オートマーク機能）

本機では、CD プレーヤーや MD レコーダー以外の外部デジタル機器からのデジタル録音、またはアナログでの録音において、録音している曲に 1.5 秒以上の無音部分があると、曲間とみなして自動的に次の曲番を付けます。この機能のことをオートマーク機能といいます。
本機では、オートマーク機能が働くレベルを切り換えることができます。

■ オートマーク機能の動作レベル（無音検知レベル）を切り換えるには

1 **録音 / 演奏モードボタンを押す。**

2 **ジョグを回して"A.mark -50dB"を選ぶ。**

動作レベルの切り換え画面になります。

オートマーク機能の動作レベル

3 **ジョグを押して動作レベルを選択する。**

押すごとに、切り換わったレベルが次のように表示されます。

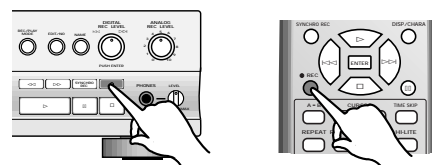
- －50dB（初期値）：ほとんどの録音に適しています。
- Off：オートマーク機能は、はたらきません。
- －60dB：静かなクラシック音楽などに適しています。
- －40dB：ノイズの多いラジオ放送などに適しています。

- マイナスの数字が大きいほど、小さい音量レベルの曲でもオートマーク機能がより正確に働くようになります。
- "Off" を選ぶと、1 回の録音をひとつづきの 1 曲として録音し、オートマーク機能は動作しません(ただし一度シンクロ録音を選択すると、強制的に初期値に戻ります)。
- シンクロ録音選択中は "Off" を選ぶことはできません。
- オートマーク機能の動作レベルの設定値は記憶されます。

■ 録音中に自分で曲番を付けるには

好きな位置で頭出しができるように、自分で曲番を付けることができます。

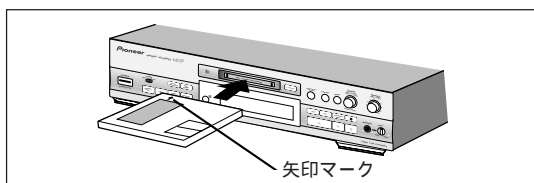
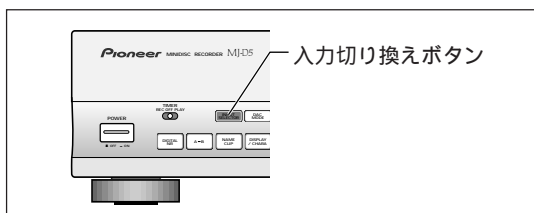
録音中に曲番を付けたい位置で、録音ボタン（●）を押す。

- シンクロ録音時は、自分で曲番を付けることはできません。

録音する

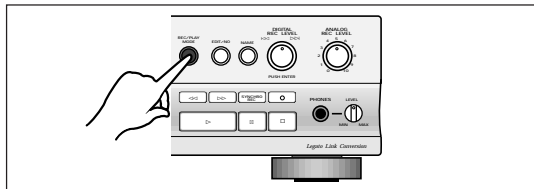
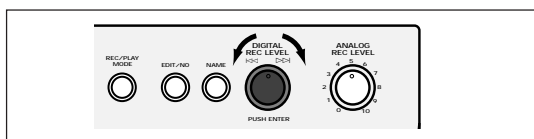
モノラルで長時間録音する

モノラル長時間モードで録音すると、ステレオモードの約2 倍の時間の録音ができます。モノラル演奏の曲やトーク中心の番組などの録音に便利です。
デジタル録音、アナログ録音のどちらでもできます。

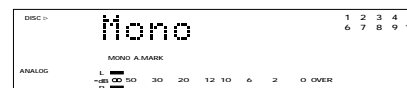
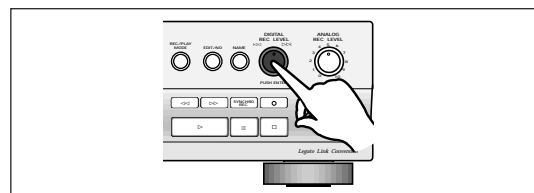
1. 録音用 MD を入れる。

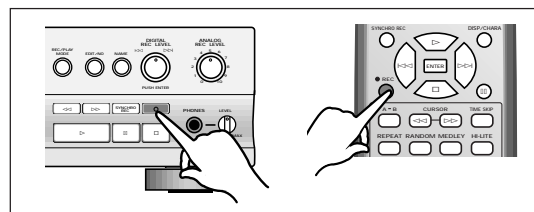
ラベルを上にして、矢印の方向へ**水平にゆっくり**入れます。途中から自動的に引き込まれます。

2. 入力切り換えボタンを押して、録音する入力を選ぶ。

3. 手順 2 で "Analog" を選んだ場合は、録音を始める前に録音レベルを調整する。

録音レベルの調整のしかたは、P.18 を参照してください。"Optical1"、"Optical2"、"Coaxial" を選んだ場合は、手順 4 に進んでください。

4. 録音 / 演奏モードボタンを押す。

5. ジョグを回して、モノラル録音の選択モードを選ぶ。

モノラル録音の選択モード

● ステレオ録音を選択している状態

● モノラル録音を選択している状態

6. ジョグを押して、モノラル録音を選択している状態にする。

7. 録音ボタン（●）を押す。

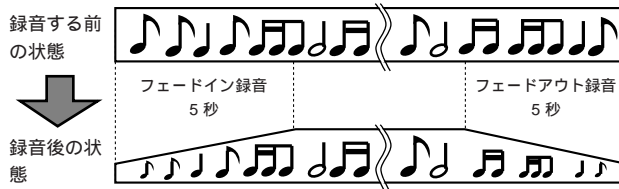
モノラル録音の一時停止状態になります。

8. 再生ボタン（▶）、または一時停止ボタン（II）を押して録音を始める。

9. 手順 2 で選んだ入力の演奏を始める。

● 電源スイッチを切っても、モノラル録音に設定した内容は記憶され、次に設定するまで変わりません。**次にステレオで録音したいときには、この操作手順に従って、ステレオ録音の状態にしてください。**

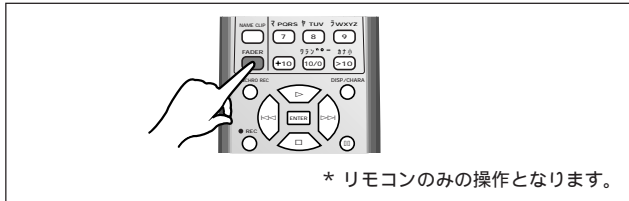
● 録音中は、モノラル録音とステレオ録音を切り換えることはできません。モノラル録音とステレオ録音を切り換える場合は、一時停止するか停止してください。

フェードイン/フェードアウト録音する

小さな音から徐々に音量を上げて演奏を開始するように録音することを、フェードイン録音といいます。また徐々に音量を下げて演奏が終わるように録音することを、フェードアウト録音といいます。

■ フェードイン録音をするには

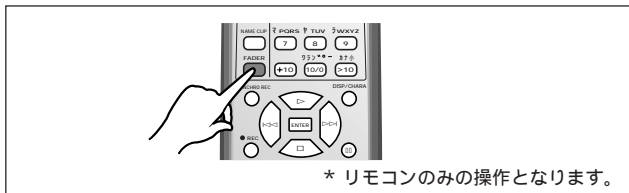
録音一時停止中に、フェードボタンを押す。

フェードインしながら、録音が始まります。
ただし、リカバリー録音、およびシンクロ録音の一時停止中は動作しません。

＊ リモコンのみの操作となります。

■ フェードアウト録音をするには

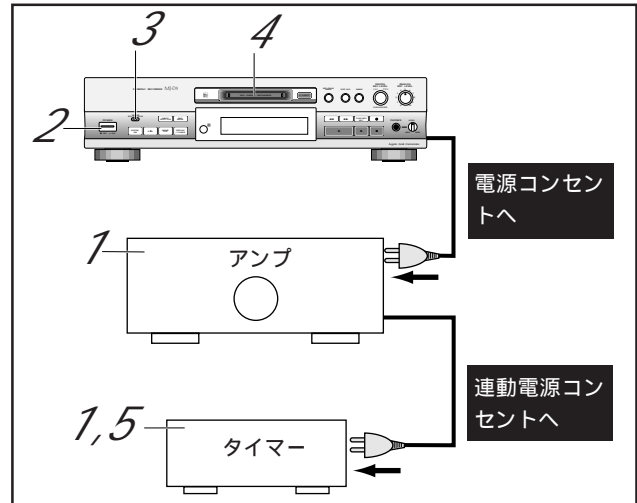
録音中に、フェードボタンを押す。

フェードアウト録音をしながら、録音一時停止状態で止まります。
ただし、シンクロ録音中に行うと、シンクロ録音が解除されます。続けてシンクロ録音を行う場合は、設定をやり直してください。 P.20

＊ リモコンのみの操作となります。

注意

- フェード録音は一度だけの動作で終了しますので、別の録音部分で行う場合は、同じように操作してください。
- フェード機能を使った録音は、デジタル録音でもアナログ録音でも可能です。

タイマーを使って録音の予約をする

市販のタイマーを使うと、指定した時刻に録音することができます。この操作を行うときは、タイマーやアンプの取扱説明書もあわせてご覧ください。

1. タイマーおよびアンプの電源を入れる。

2. 本機の電源を入れる。

3. 本機のタイマー・スイッチを、“ REC ” 側に切り換える。

4. 「MDにデジタル録音する」 P.17 または「MDにアナログ録音する」 P.18 の手順で、録音の準備をする。

- モノラルでの長時間録音もできます。 P.28 の手順で準備してください。

5. タイマーを設定する。

タイマーが動作して録音が始まるまでに約 1 分ほどかかります。タイマーの時刻を設定するときは、この時間を考慮して、約 1 分前に設定してください。
タイマーに接続された機器の電源が切れます。

注意

録音した内容は、製品のバックアップ機能により記憶していますが、バックアップ期間を超える時間(約 1 週間)放置していますと、録音した内容は全て消えてしまいます。
タイマー録音した後は、できるだけ速やかに電源を入れ、UTOC P.12 P.41 を記録してください。

録音する

ＭＤ編集機能の使いかた

編集メニューについて

曲順を変えたり、1曲を2曲に分けるなどの編集をして、自分だけのオリジナルディスクづくりができます。本機には次のような編集機能があります。

■ ディスクや曲に名前を付ける（ネーム機能）⇨ 31ページ

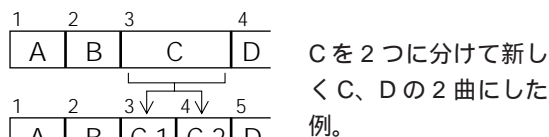
録音した曲に曲名を付けたり､録音したディスクにディスクの名を付けたりすることができます。
カタカナ、アルファベット（A～Z、 a～z）数字、記号を使用できます。ディスク名は100文字まで入力できます。曲名は1曲につき、100文字まで入力できます。

また、曲やディスクにつけた名前を記憶して、他の曲やディスクにそのままコピーすることができます。

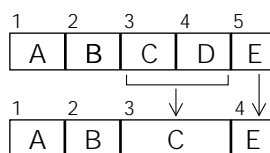
- 名前をコピーする 34ページ
（ネームクリップ機能）

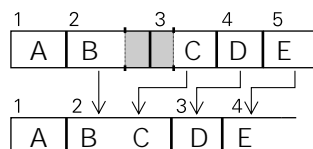
■ 1つの曲を2つの曲に分ける（デバイド機能）⇨ 35ページ

1曲を途中から2つの曲に分けます。分けた曲以降の曲番は自動的に付け変えられます。

Cを2つに分けて新しくC、Dの2曲にした例。

■ 連続している2つの曲をつないで1つの曲にする（コンバイン機能）⇨ 36ページ

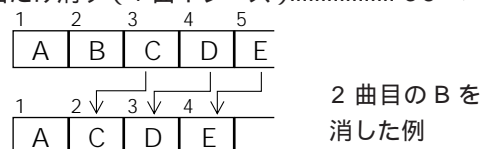
C、Dの2曲を1曲にして新しくCとします。つないだ曲以降の曲番は、自動的に付け変えられます。

- 2つの曲を1曲につなげる
（コンバイン）.. 36ページ

また、設定した任意の部分を消去して、その前後の曲を1つの曲としてつなげます。たとえば、ラジオなどの放送を録音したディスクがあるときに、トークやCMを消去して、その前後を1つの曲としてまとめることができます。

- 消去して結合する
（A-Bコンバイン）..................................... 37ページ

■ 1曲または全曲を消す（イレース機能）⇨ 38ページ

消したい曲を指定するだけで、1曲をまるごと消すことができます。消した曲は曲名ごと消えます。また、消した曲以降の曲番は自動的に付け変えられます。

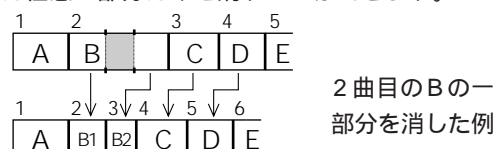
- 1曲だけ消す（1曲イレース）................. 38ページ

2曲目のBを消した例

- ディスクの全曲を消す
（オールイレース）..................................... 38ページ

一度にディスク中の全曲を消すことができます。この場合は、ディスク名も消えます。

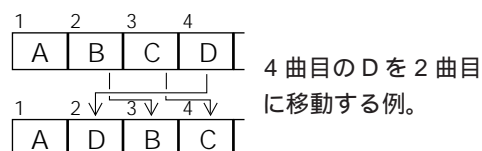
- 任意の一部分だけを消す
（A-Bイレース）... 39ページ

指定した任意の部分だけを消すことができます。

2曲目のBの一部分を消した例

■ 曲を移動したり並べ変えたりする（ムーブ機能）⇨ 40ページ

ある曲を好きな位置に移動して曲順を変えることができます。並べ変えた後の曲番は自動的に付け変えられます。

- 曲を移動する（ムーブ）............................ 40ページ

4曲目のDを2曲目に移動する例。

また､プログラム演奏で指定した順に曲を並べ変えることもできます｡並べかえた後の曲番は自動的に付けかえられます。

- 曲を並べ変える（プログラムムーブ）..... 41ページ

ディスクや曲に名前をつける（ネーム機能）

録音・再生用MDにディスク名や曲名を付けることができます。カタカナ、アルファベット（A～Z、a～z)、数字、記号を使用できます。ディスク名は100文字まで入力できます。曲名は1曲につき、100文字まで入力できます。

(例)“ BEST ”と名前を付ける場合

■ 本体で入力する

1. 名前を付けたいMDを入れる。

2. 曲名を付ける場合は曲を選び、ディスク名を付ける場合は手順3に進む。

曲を選ぶには、ジョグを回します。曲名は演奏/演奏一時停止中や、録音/録音一時停止中にも入力することができます。

3. ネームボタンを押す。

● 本体表示部が、入力待ちの状態になります。

ディスク名の入力待ちの場合は"DISC"と表示
曲名の入力待ちの場合は"TRACK"と表示

点滅部分の上に文字が入ります。

4. ジョグを回して、入力する文字を選ぶ。

最初の文字である“ B ”を表示させます。

5. ディスプレイ/キャラクタボタンを押して、文字の種類を選ぶ。

押すごとに文字の種類が切り換わります。

→ A-Z（大文字)、数字、記号 → a-z（小文字)、数字、記号 → カタカナ →

6. ジョグを押して、選んだ文字を決定する。

ジョグの代わりに、早送りボタン(▶▶)でも同じ操作ができます。

7. 手順4から手順6を繰り返して、名前を入力する。

文字を追加、変更、削除する場合は、 **P.33 をご覧ください。**

8. 名前を入力し終わったら、ネームボタンを押す。

注意

- 録音中に曲名を入力していて、名前の入力が完了する前に次の曲になった場合は、そのときまで入力していた文字を曲名として決定します。録音が終わってから入力し直してください。ただし、1曲シンクロ録音中に曲名を入力をしていて、名前の入力が完了する前に曲が終わって停止した場合は、そのときに入力していた文字は無効になります。
- 演奏中での曲名の入力は、ネームの入力が完了する前に曲が終了しても繰り返して演奏します。

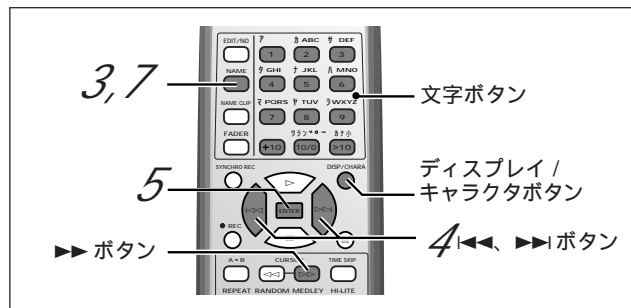
MEMO ネーム機能で入力できる文字の種類

- **アルファベット（大文字）：**
  ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ□(空白)
- **アルファベット（小文字）：**
  abcdefghijklmnopqrstuvwxyz □（空白）
- **数字、記号：**
  1234567890 □（空白)!"#$%&'()＊+，ー．/:;<=>?@_` □（空白）
- **カタカナ：**
  アイウエオカキクケコサシスセソタチツテトナニヌネノハヒフヘホマミムメモヤユヨラリルレロワヲンァィゥェォャュョッ゛゜ ー／□（空白）

編集操作

ディスクや曲に名前をつける（ネーム機能）

（例）“ BEST ” と名前を付ける場合

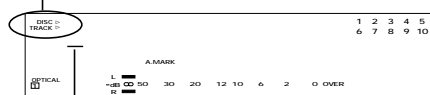
■ リモコンで入力する

1. 名前を付けたい MD を入れる。

2. 曲名を付ける場合は曲を選び、ディスク名を付ける場合は手順 3 に進む。

曲を選ぶには、I◀◀ または ▶▶I ボタンを押します。曲名は演奏 / 演奏一時停止中や、録音 / 録音一時停止中にも入力することができます。

3. ネームボタンを押す。

● 本体表示部が、入力待ちの表示になります。

ディスク名の入力待ちの場合は "DISC" と表示
曲名の入力待ちの場合は "TRACK" と表示

点滅部分の上に文字が入ります。

4. リモコンの文字ボタンを押して、入力する文字を選ぶ。

このページ右側「文字ボタンの入力文字割り当て表」を参考にしながら、最初の文字である“ B ”を表示させます。またI◀◀、▶▶Iボタンでも文字を選ぶことができますます。

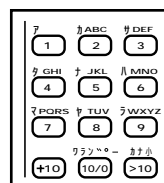
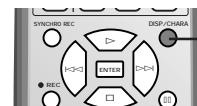
5. エンターボタンを押して、選んだ文字を確定する。

エンターボタンの代わりに、▶▶ ボタンでも同じ操作ができます。

6. 手順 4 と手順 5 を繰り返して、名前を入力する。

文字を追加、変更、削除する場合は、P.33 をご覧ください。

7. 名前を入力し終わったら、ネームボタンを押す。

文字ボタンの入力文字割り当て表

リモコンのボタン	アルファベットの大文字(アルファベットの小文字)*	カタカナ
1	1	ｱ ｲ ｳ ｴ ｵ
2	2 A B C	ｶ ｷ ｸ ｹ ｺ
3	3 D E F	ｻ ｼ ｽ ｾ ｿ
4	4 G H I	ﾀ ﾁ ﾂ ﾃ ﾄ
5	5 J K L	ﾅ ﾆ ﾇ ﾈ ﾉ
6	6 M N O	ﾊ ﾋ ﾌ ﾍ ﾎ
7	7 P Q R S	ﾏ ﾐ ﾑ ﾒ ﾓ
8	8 T U V	ﾔ ﾕ ﾖ
9	9 W X Y Z	ﾗ ﾘ ﾙ ﾚ ﾛ
10/0	0 記号 **	ﾜ ｦ ﾝ ﾞ ﾟ ー
>10		サイズの小さなカタカナ ***

*アルファベットの小文字を選択したときは、各ボタンの入力できる文字が、大文字から小文字にかわります。

** 記号
□（空白）!"#$%&'()＊+、ー．/:;<=>?@_`

*** サイズの小さなカタカナ
ｧ ｨ ｩ ｪ ｫ ｬ ｭ ｮ ｯ

リモコンの文字ボタンを押すごとに、入力できる文字が表の順番に切り換わります。
例えばディスプレイ / キャラクタボタンで、文字の種類を A-Z（大文字）、数字、記号を選択しているときに、[2] を押したときは、

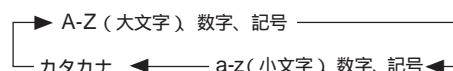
2 → A → B → C

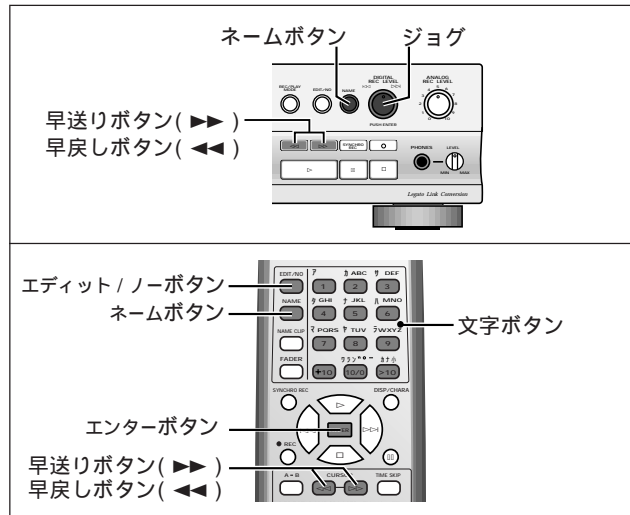
と、押すごとに入力する文字が切り換わります。
また、ディスプレイ / キャラクタボタンで、文字の種類にカタカナを選択しているときは、

カ → キ → ク → ケ → コ

と、押すごとに入力する文字が切り換わります。

<文字の種類を変えるには>

文字の種類を変えるには、ディスプレイ / キャラクタボタンを押します。押すごとに文字の種類が切り換わります。

ディスク名や曲名を修正する

登録したディスク名や曲名を修正（追加/変更/消去）することができます。他の機器で101文字以上のディスク名や曲名を入れたMDは、101文字目以降の修正はできません。

■ 文字を追加するとき

（例） "BET" → "BEST"

1. ネームボタンを押して文字入力状態にする。

2. 早送りボタン(►►)、または早戻しボタン(◄◄)を押して、追加する文字の挿入位置まで移動させる。

Bの文字の下部にあった点滅部分を、Tの文字の下部まで移動させる。

挿入したい文字の下に、点滅部分を移動させる。

3. 本体のジョグを回す、またはリモコンの文字ボタンで､追加する文字を選ぶ。

Tの文字の部分に、追加するSの文字を新しく表示させる。

4. 本体のジョグまたはリモコンのエンターボタンを押す。

BEST となり、S の文字が追加されます。

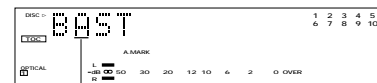
5. ネームボタンを押して終了する。

■ 文字を変更するとき

（例） "BAST" → "BEST"

1. ネームボタンを押して文字入力状態にする。

2. 文字入力状態にした後、早送りボタン(►►)、または早戻しボタン(◄◄)を押して、変更する文字を選ぶ。

Bの文字の下部にあった点滅部分を､Aの文字に下部まで移動させる。

変更したい文字の部分に、点滅部分を移動させる。点滅部分の上にある文字に新しく上書きされます。

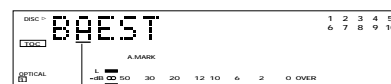
3. 本体のジョグ、またはリモコンの文字ボタンで、新しい文字を選ぶ。

4. 早送りボタン(►►)を押して文字を確定した後、ネームボタンを押して終了する。

■ 誤って入力した文字を消したいとき

（例） "BAEST" → "BEST"

1. ネームボタンを押して文字入力状態にする。

2. 早送りボタン(►►)、または早戻しボタン(◄◄)で消去したい文字に点滅部分を移動させる。

消去したい文字の下に、点滅部分を移動させる。

3. エディット / ノーボタンを押す。

4. ネームボタンを押して終了する。

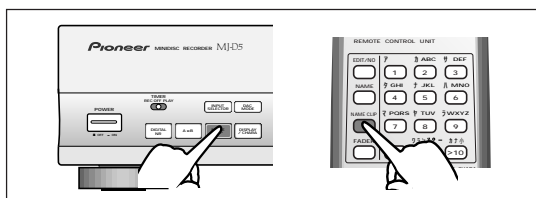
名前をコピーする（ネームクリップ機能）

同じ様な名前を何度も入力するときなどに、この機能を使うと便利です。すでに入力されている名前を記憶し、何回でもコピーすることができます。最大40文字までの名前を3つ記憶することができます。

■ コピーしたい名前を記憶する

1. コピーしたい名前を表示させる。

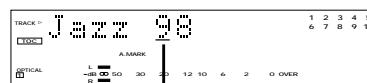
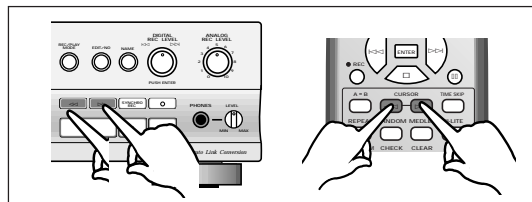
2. ネームクリップボタンを押す。

表示部に、"Name Clip"が点滅し、名前が記憶されたことを知らせます。他のメッセージが表示されたときは、P.10 P.44 を参照してください。3つ目以降に名前の記憶をすると、一番古い名前が消去され、新しい名前が上書きされます。

注意

- 再生専用MDに記録されているネームは、著作権保護のため、ネームクリップはできません。
- 電源を切ると、記憶されたネームは消えます。

■ 記憶した名前をコピー入力する。

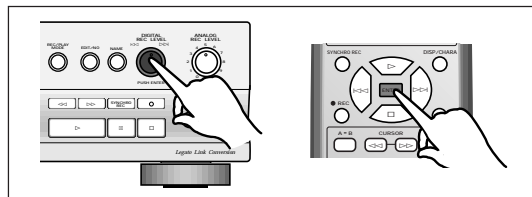
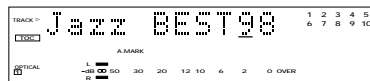
1. コピー入力したい曲を表示させ、ネームボタンを押す。

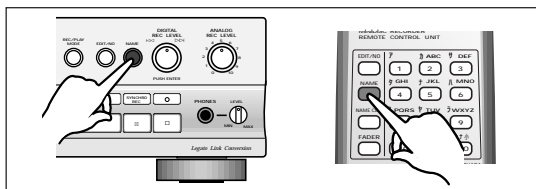
2. 早送りボタン(►►)、または早戻しボタン(◄◄)を押して、点滅部分を挿入したい位置まで移動する

点滅部分の文字の前に、名前が入ります。

3. ネームクリップボタンを押す。

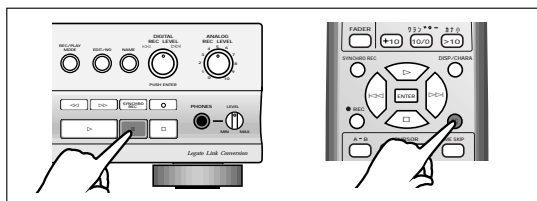
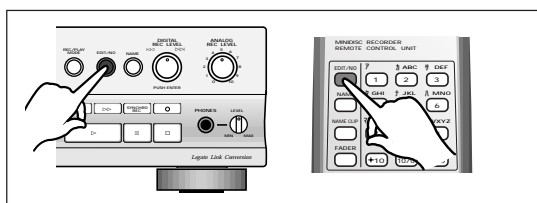
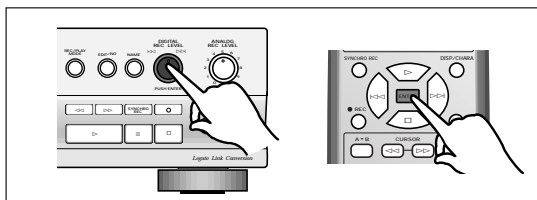
名前を一つしかネームクリップしていない場合は、手順6に進んでください。

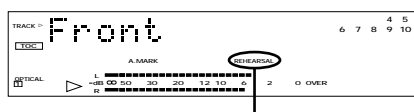
4. ジョグを回して入力したい名前を選ぶ。

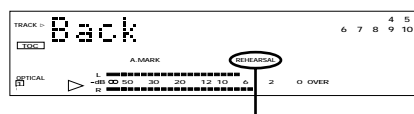
5. ジョグまたはリモコンのエンターボタンを押して決定する。

表示部に、"Name Insert"が点滅し、名前が入力されたことを知らせます。他のメッセージが表示されたときは、P.10 P.44 を参照してください。

ネームクリップ機能で入力した文字は、図のように挿入されて入力されます。

6. ネームボタンを押して終了する。

1 つの曲を 2 つの曲に分ける（デバイド機能）

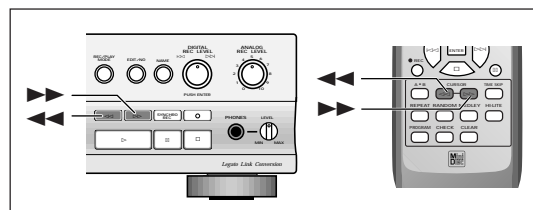
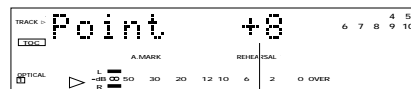
録音後に 1 つの曲を 2 つの曲に分けることができます。これにより、新たに頭出しのための曲番を記録することができます。
1 つの曲番に 2 つ以上の曲が録音されているときや、曲の途中に頭出し用のポイントを作りたいときに便利です。
分けた曲以降の曲番は、自動的に付けかえられます。

1. 演奏中に曲を分けたい位置で、一時停止ボタン（II）を押す。

2. エディット / ノーボタンを押して、“ Divide ” を選ぶ。

3. ジョグまたはリモコンのエンターボタンを押す。

手順 *1* で一時停止ボタン（II）を押した位置（曲を分ける位置）の前後約 4 秒間を繰り返し演奏します。

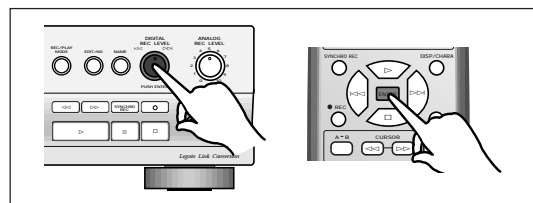
- 曲を分ける位置の前部分約 4 秒間を演奏しているときの表示

'Reharsal" と点灯

- 曲を分ける位置の後部分約 4 秒間を演奏しているときの表示

'Reharsal" と点灯

曲を分ける位置を微調整するときは、手順 *4* の操作を行ってください。微調整しない場合は、手順 *5* に進みます。

4. 演奏を聞いて確認しながら、曲を分ける位置の微調整を行う。

曲を聞きながら、早送りボタン、または早戻しボタンを押して、曲を2つに分ける位置の微調整を行う。

数字が大きくなるほど、分ける位置が前に移動し、数字が小さくなるほど、分ける位置が後ろに移動します。

- この場合の 1 ステップは、約 0.01 秒です。
- ± 255 ステップまで、調整することができます。
- 作業を中止する場合は、停止ボタン、またはエディット / ノーボタンを押す。

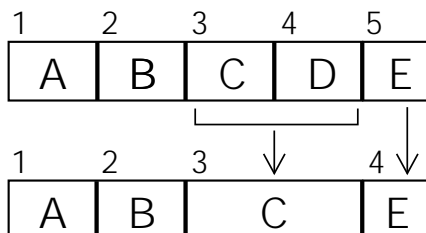
5. ジョグまたはリモコンのエンターボタンを押して、曲を 2 つに分ける。

"Complete" と表示され、作業が完了します。

- 分ける曲に曲名が付いている場合は、両方の曲に同じ名前が付きます。ただし、"TOC Full"（P.44 を参照）の状態では、後の曲に曲名が付かないことがあります。
- 1 枚の MD で最大 255 曲まで曲を分けることができます。

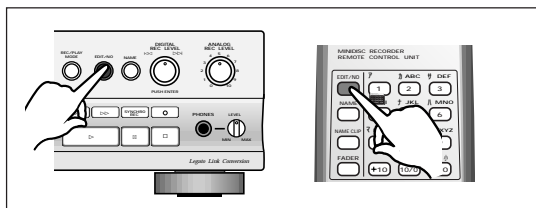
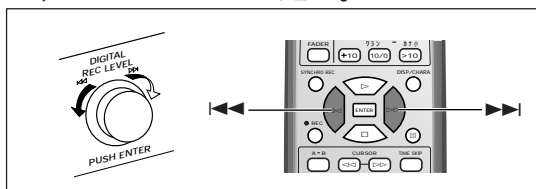
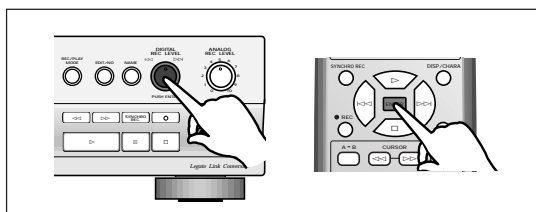
連続している 2 つの曲をつないで 1 つの曲にする（コンバイン機能）

■ 2 つの曲を 1 曲につなげる（コンバイン）

選択した曲と、その直前の曲をつないで、1曲にまとめます。
つないだ曲以降の曲番は、自動的に付け変えられます。

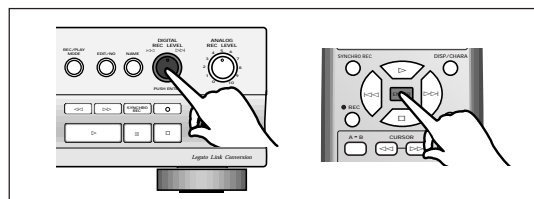
● **3 曲目と 4 曲をつなぐときの例。**

1. 4 曲目を演奏中に、一時停止ボタン (II)を押す。

つなぐ 2 曲のうち、曲番の大きい曲の方を選びます。（上図では D の曲）

2. エディット / ノーボタンを押す。

3. 本体のジョグを回すか、リモコンの頭出しボタン（|◀◀ または ▶▶|）を押して、“ Combine ” を選ぶ。

4. ジョグまたはリモコンのエンターボタンを押す。

● コンバイン機能における作業確認のときの表示

つながる曲番号を表わします。

作業を中止する場合はこの状態で、停止ボタン(■)、またはエディット / ノーボタンを押します。

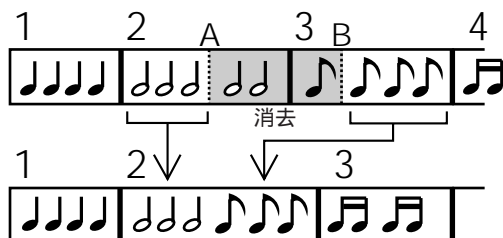
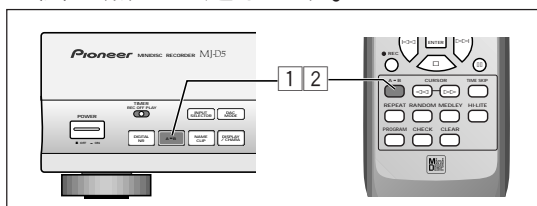
5. ジョグまたはリモコンのエンターボタンを押して、2 つの曲を 1 曲につなげる。

"Complete" と表示され、作業が完了します。

注意

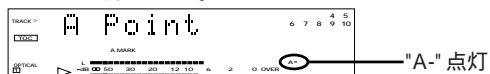
- つなぐ曲に曲名が付いている場合は、前の曲の曲名が付きます。ただし、前の曲に曲名が付いていないときは、後の曲名が付きます。
- 離れた曲をつなげたいときは、ムーブ機能 P.40 P.41 で曲を移動し、連続させてからコンバイン機能でつないでください。
- モノラル長時間録音した曲とステレオ録音した曲は、つなげることができません。
- デジタル入力で録音した曲とアナログ入力から録音した曲は、つなげることができません。
- 12 秒以下の短い曲は、つながらないことがあります。

連続している 2 つの曲をつないで 1 つの曲にする（コンバイン機能）<つづき>

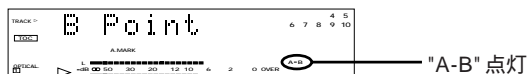
■ 消去して結合する（A-B コンバイン）

設定した任意の部分（下図では A 点と B 点の間の部分）を消去して、その前後の曲をつないで 1 曲にまとめます。つないだ曲以降の曲番は、自動的に付け変えられます。

1. 演奏中に、消去する部分の開始点 A と終止点 B を選びます。

1 A-Bボタンを押して開始点Aを設定する。

演奏を聞きながら消去したい部分の開始点で、A-B ボタンを押します。

"A-" 点灯

2 A-Bボタンを押して終止点Bを設定する。

演奏を聞きながら消去したい部分の終止点で、A-B ボタンを押します。終止点 B が設定されます。
この状態で再度 A-B ボタンを押すと、押した位置に終止点 B が変更されます。

"A-B" 点灯

3 一時停止ボタン(II)を押す。

2. エディット / ノーボタンを押す。

3. 本体のジョグを回すか、リモコンの頭出しボタン（|◀◀ または ▶▶|）を押して、" A-B Combine " を選ぶ。

4. ジョグまたはリモコンのエンターボタンを押す。

手順 *1* で設定した開始点 A の前約 2.5 秒間と終止点 B の後約 2.5 秒間を繰り返し演奏します。

● 開始点 A の前約 2.5 秒間を演奏しているときの表示

Combine OK?

"A-" 点灯

● 終止点 B の後約 2.5 秒間を演奏しているときの表示

Combine OK?

"B" 点灯

- 終止点 B の位置は、開始点 A の位置より後にしか調整できません。
  開始点 A、終止点 B の調整中に、"Point ERR" が表示されたときは、開始点 A、終止点 B の位置が正しい位置ではないので、表示が消える位置まで戻してください。
- 一度編集した点とほぼ同じ点の編集を繰り返すと、曲がつながらないことがあります。
- 作業を中止する場合は、停止ボタン(■)、またはエディット / ノーボタンを押す。

設定した開始点 A と終止点 B を変更するときは、42 ページの「開始点 A と終止点 B の設定位置を変更する」の操作方法を参照してください。変更しない場合は、手順 *5* に進みます。

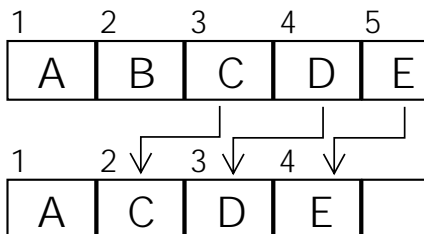
5. もう一度ジョグまたはリモコンのエンターボタンを押して編集作業を実行する。

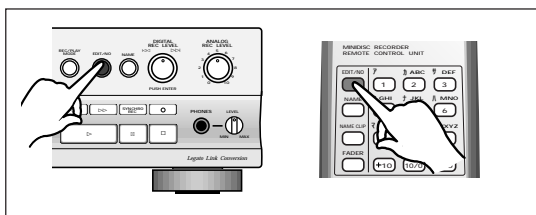
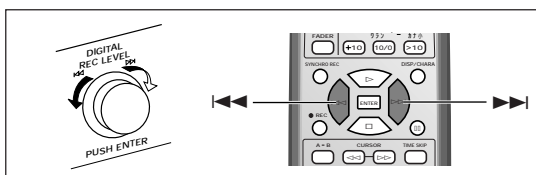
"Complete" と表示され、作業が完了します。

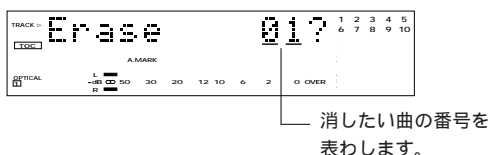
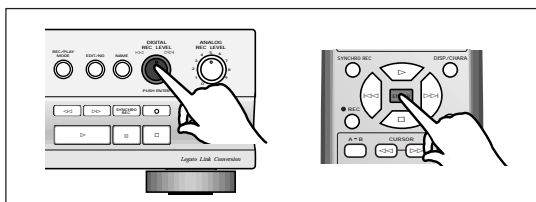
編集操作

1 曲または全曲を消す（イレース機能）

■ 1 曲だけ消す（1 曲イレース）

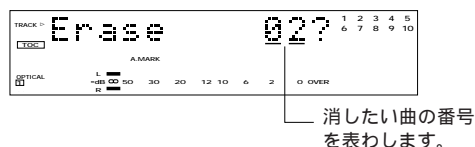
選択した曲を消します。消去した曲以降の曲番は、自動的に付け変えられます。

● **2 曲目の B を消す例。**

1. 停止中に、エディット / ノーボタンを押す。

2. 本体のジョグを回すか、リモコンの頭出しボタン（⏮ または ⏭）を押して、表示部に“ Erase ”を出す。

3. ジョグまたはリモコンのエンターボタンを押す。

消したい曲の番号を表わします。

4. 消したい曲を選ぶ。

本体のジョグを回すか、リモコンの頭出しボタン（⏮ または ⏭）を押して、曲番号を選びます。

● 2 曲目の B を消したいときの表示

消したい曲の番号を表わします。

作業を中止する場合はこの状態で、停止ボタン(■)、またはエディット / ノーボタンを押してください。

5. ジョグまたはリモコンのエンターボタンを押して、選んだ曲を消去する。

■ ディスクの全曲を消す（オールイレース）

一度にディスク中の全曲を消すことができます。この場合、ディスク名も消去されます。

1. 停止中に、エディット / ノーボタンを押す。

2. 本体のジョグを回すか、リモコンの頭出しボタン（⏮ または ⏭）を押して、表示部に“ All Erase ”を出す。

3. ジョグまたはリモコンのエンターボタンを押す。

● 全曲イレースの確認の表示になります。

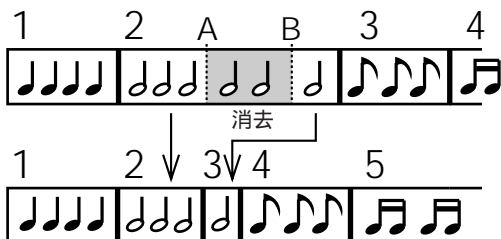
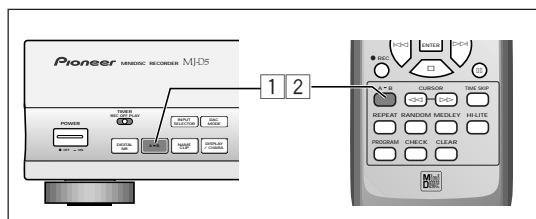
作業をやめる場合はこの状態で、停止ボタン(■)、またはエディット / ノーボタンを押してください。

4. もう一度ジョグまたはリモコンのエンターボタンを押して、ディスクの内容を消去する。

本体表示部に"Blank Disc"と表示され、ディスクの内容がすべて消えたことを表わします。

1 曲または全曲を消す（イレース機能）

■ 任意の一部分だけを消す（A-Bイレース）

指定した任意の部分（下図では A 点と B 点の間の部分）だけを消すことができます。

1. 演奏中に消去する部分の開始点 A と終止点 B を選びます。

1 開始点 A を設定する。

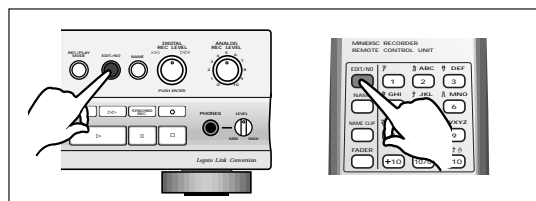
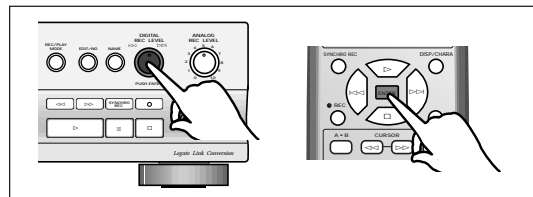
演奏を聞きながら消去したい部分の開始点で、A-B ボタンを押します。

2 終止点 B を設定する。

演奏を聞きながら消去したい部分の終止点で、A-B ボタンを押します。終止点 B が設定されます。
この状態で再度 A-B ボタンを押すと、押した位置に終止点 B が変更されます。

3 一時停止ボタン(ıı)を押す。

2. エディット / ノーボタンを押す。

“ A-B　Erase ” と表示されます。

3. ジョグまたはリモコンのエンターボタンを押す。

手順 *1* で設定した開始点 A の前約 2.5 秒間と終止点 B の後約 2.5 秒間を繰り返し演奏します。

● 開始点Aの前約2.5秒間を演奏しているときの表示

● 終止点Bの後約2.5秒間を演奏しているときの表示

作業をやめる場合は、停止ボタン(■)、またはエディット / ノーボタンを押す。

設定した開始点Aと終止点Bを変更するときは、42ページの「開始点 A と終止点 B の設定位置を変更する」の操作方法を参照してください。変更しない場合は、手順*4*に進みます。

4. もう一度ジョグまたはリモコンのエンターボタンを押して編集作業を実行する。

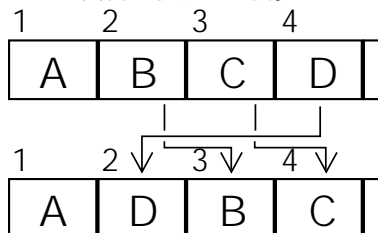
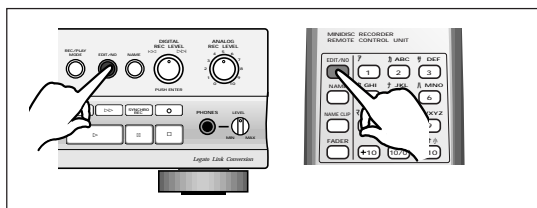
● 消去した部分の前後で、曲番が 2 つに分かれます。分かれた曲に曲名が付いている場合は、両方の曲に同じ名前が付きます。ただし、"TOC Full"（P.44 を参照）の状態では、後の曲に曲名が付かないことがあります。

編集操作

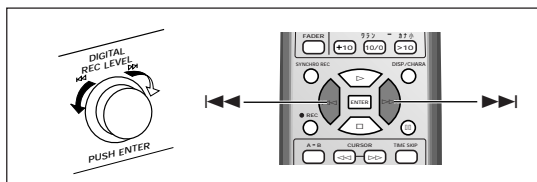
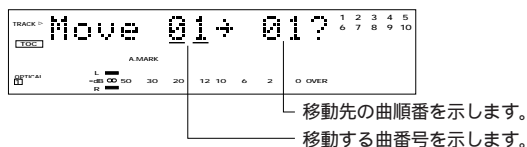
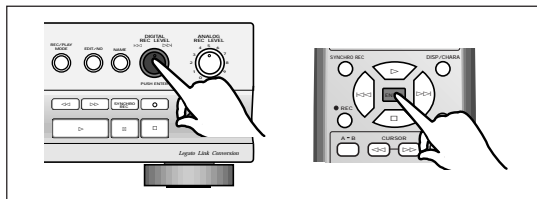
曲を移動したり並べ変えたりする（ムーブ機能）

■ 曲を移動する（ムーブ）

ある曲を好きな位置に移動して、曲順を並べ変えることができます。

● 4曲目のDを2曲目に移動する例。

1. 停止中に、エディット / ノーボタンを押す。

2. 本体のジョグを回すか、リモコンの頭出しボタン（⏮ または ⏭）を押して、表示部に“ Move ”を出す。

3. ジョグまたはリモコンのエンターボタンを押す。

移動先の曲順番を示します。
移動する曲番号を示します。

作業を中止する場合はこの状態で、停止ボタン(■)、またはエディット / ノーボタンを押してください。

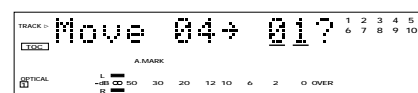
4. 移動する曲を選ぶ

本体のジョグを回すか、リモコンの頭出しボタン（⏮ または ⏭）を押して、曲番号を選びます。

● 4曲目のDを移動するときの表示

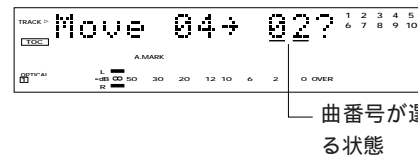
移動する曲番号が選択されている状態

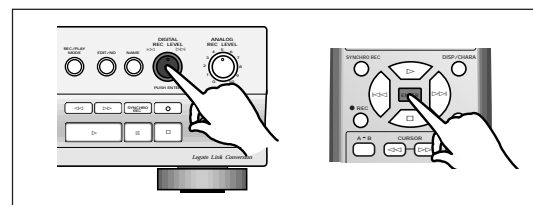
5. 早送りボタン（▶▶）を押す。

移動する曲番号の下にあった点灯部分が、移動先の曲番号の下に移動します。

6. 移動先の曲番号を選ぶ。

本体のジョグを回すか、リモコンの頭出しボタン（⏮ または ⏭）を押して、移動先の曲番号を選択します。

● 2曲目に移動するときの表示

曲番号が選択されている状態

早送りボタン（▶▶）または早戻しボタン（◀◀）で、*4* の状態と *6* の状態を切り換えることができます。

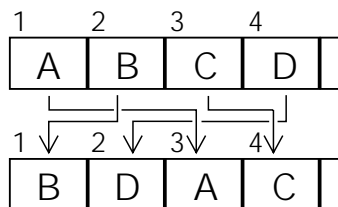
7. ジョグまたはリモコンのエンターボタンを押して編集作業を実行する。

"Complete" と表示され、作業が完了します。

曲を移動したり並べ変えたりする（ムーブ機能）

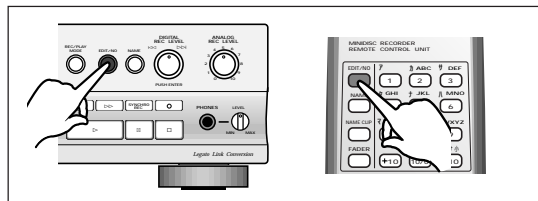
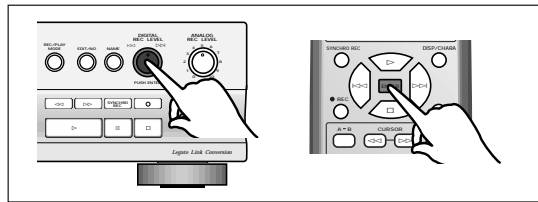
■ 曲を並べかえる（プログラムムーブ）

プログラム演奏で指定した順に曲を並べ変えることができます。

1. **並べかえたい順に、曲の順番を登録する。**

登録のしかたは、22ページの「聞きたい曲を聞きたい順番で聞く（プログラム演奏）」の操作方法を参考にしてください。
なお、プログラムで登録しなかった曲は、プログラム登録した最後の曲の後に移動します。

上図の場合は、
●2曲目➞ 4曲目➞ 1曲目の順に、曲番をプログラム入力していきます。

2. **エディット / ノーボタンを押す。**

“ Program Move ” と表示されます。

3. **ジョグまたはリモコンのエンターボタンを押す。**

● プログラムムーブにおける確認作業のときの表示

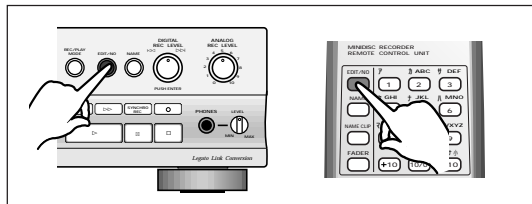
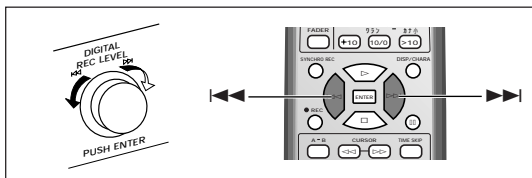
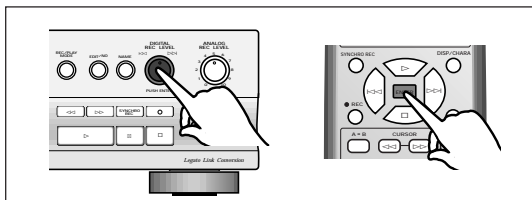
> 作業を中止する場合は、停止ボタン(■)、またはエディット / ノーボタンを押します。

4. **もう一度ジョグまたはリモコンのエンターボタンを押して編集作業を実行する。**

"Complete" と表示され、作業が完了します。

UTOCを書き換える

MDには、曲番や演奏時間、曲名などのディスクや曲の情報も記録されています。これをTOC(Table of Contents)といいます。特に書き換えが可能なTOCのことを、UTOC(User Table of Contents)といいます。本機は、録音や編集を行ったあと、ディスクを取り出さずにUTOCの書き換えを行うことができます。
録音や編集をした後は表示部に TOC が点灯しますので、必ずUTOCの書き換えをしてください。もし、UTOCの書き換えをしないまま電源を切って約1週間放置しますと、新しく録音、編集した内容は全て消えてしまいます。

1. **停止中にエディット/ノーボタンを押す。**

2. **本体のジョグを回すか、リモコンの頭出しボタン（|◀◀ または ▶▶|）を押して、表示部に“ UTOC Write ”を出す。**

3. **ジョグまたはリモコンのエンターボタンを押す。**

● UTOCの書き換えにおける確認作業のときの表示

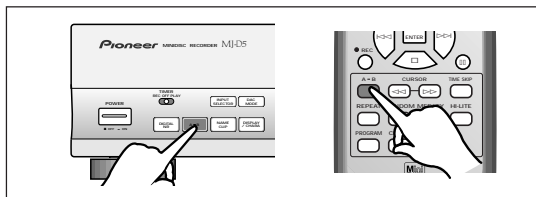
> 作業を中止する場合は、停止ボタン(■)、またはエディット / ノーボタンを押します。

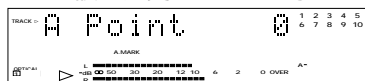
4. **もう一度ジョグまたはリモコンのエンターボタンを押す。**

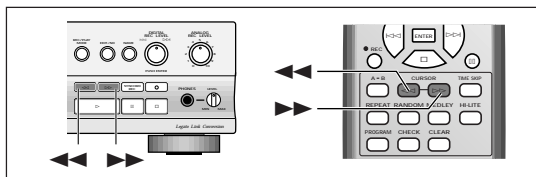
"UTOC Writing" と点滅します。
UTOCの書き換えが完了すると、TOC が消灯します。

開始点 A と終止点 B の設定位置を変更する

コンバイン機能の消去して結合する（A-B コンバイン P.37）ときや、イレース機能の任意の一部分だけを消す（A-B イレース P.39）ときに設定する開始点 A と終止点 B の位置を変更します。

1. 開始点 A と終止点 B が交互に 2.5 秒間演奏されているときに、A-B ボタンを押す。

A-B ボタンを押すごとに、開始点 A または終止点 B の設定変更の表示が切り換わります。

- 開始点 A の設定変更のときの表示

- 終止点 B の設定変更のときの表示

2. 曲を聞きながら早送りボタン(▶▶)または早戻しボタン(◀◀)を押して、開始点 A または終止点 B の微調整をする。

- 開始点 A の設定変更を選んだとき

この数字が開始点 A の位置の変化量を表します。

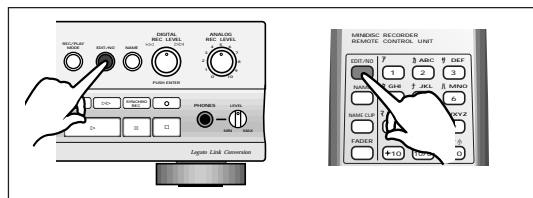
- この場合の 1 ステップは、約 0.01 秒です。
- ± 176 ステップまで、調整することができます。
- 終止点 B の位置は、開始点 A の位置より後にしか調整できません。
  開始点 A、終止点 B の調整中に、"Point ERR" が表示されたときは、開始点 A、終止点 B の位置が正しい位置ではないので、表示が消える位置まで戻してください。
- 5 秒以上経過した場合は、手順 *1* からやり直してください。

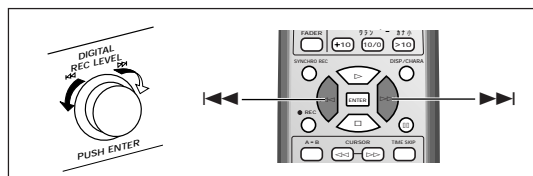
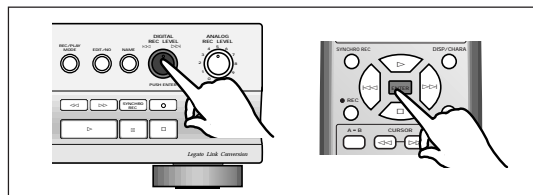
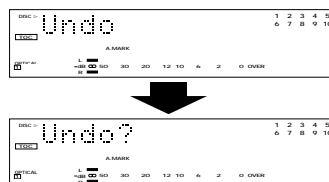
3. ジョグまたはリモコンのエンターボタンを押して編集作業を実行する。

最後に行った編集操作を取り消す (アンドゥ機能)

最後に行った編集作業を取り消し、その前の MD の状態に戻します。ただし、編集後に次のいずれかの操作をすると、取り消すことができなくなります。

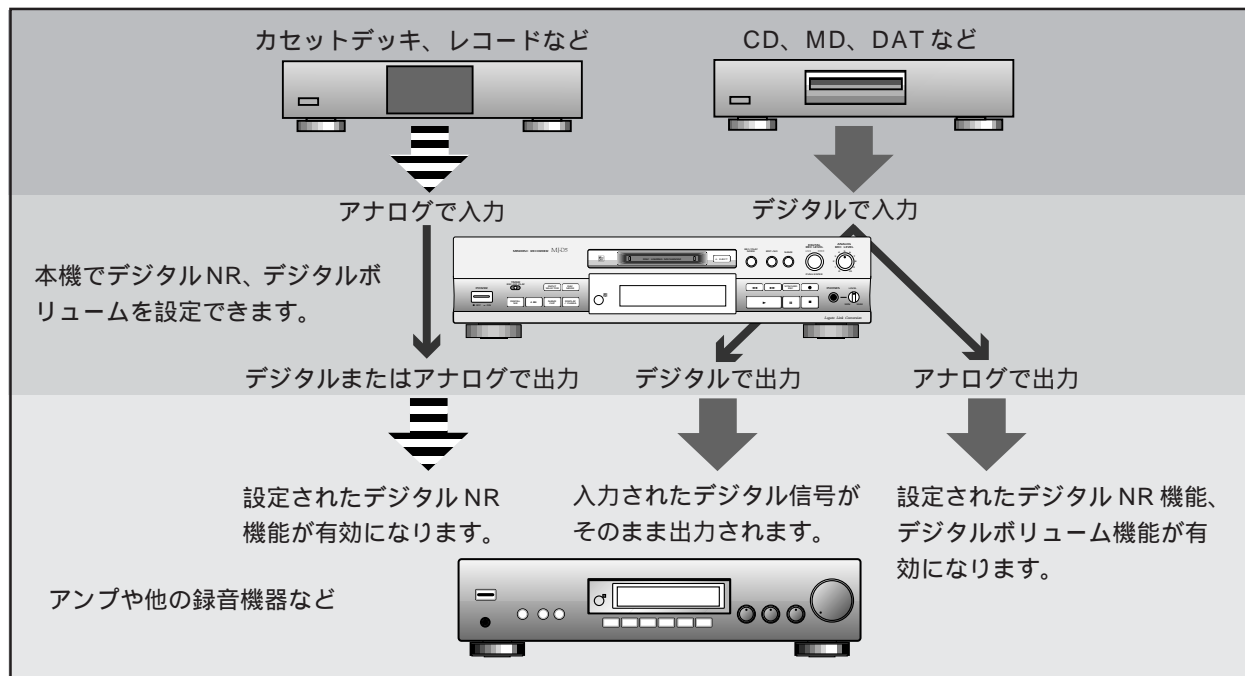
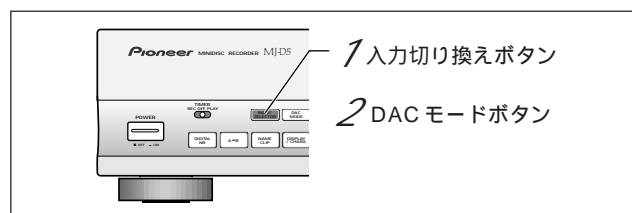
- **編集後に録音の操作をした場合。**
- **MD を取り出したり、UTOC の書き換えをした場合。**

1. 停止中に、エディット / ノーボタンを押して、編集メニューにする。

2. 本体のジョグを回すか、リモコンの頭出しボタン（|◀◀ または ▶▶|）を押して、表示部に " Undo " を出す。

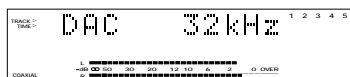
取り消す編集作業がない場合は、"Undo" は表示されません。

3. ジョグまたはリモコンのエンターボタンを押す。

- 本体表示部が、編集モードの表示から編集確認モードの表示になります。

UNDO 機能を中止する場合はこの状態のときに、停止ボタン(■)、またはエディット / ノーボタンを押す。

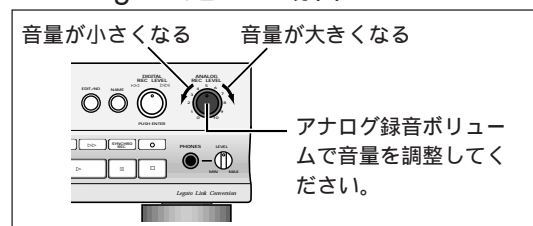
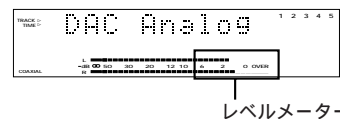
4. もう一度、ジョグまたはリモコンのエンターボタンを押す。

DACとして使う

CDやカセットテープレコーダーからの信号を、本機のDAC（デジタル➞アナログコンバーター）機能を使って再生することにより、デジタルNR P.16 などの高音質を楽しむことができます。
本機をDACモードにすると、外部からのデジタル入力に対してはデジタル➞アナログ変換された信号をアナログ出力し、アナログ入力に対してはアナログ ➞ デジタル変換された信号をアナログ出力またはデジタル出力します。

- 再生中、または録音中はDACモードを使うことができません。
- MDが入っていなくても、DACモードを使うことができます。

1. 停止中に、入力切り換えボタンを押して、入力を選ぶ。

2. DACモードボタンを押す。

"Optical1"、"Optical2"、または"Coaxial"を選んだ場合、それぞれのデジタル入力のサンプリング周波数（32kHz、44.1kHz、48kHz）が表示されます。選んだ入力に機器が接続されていない場合は、"DAC Unlock"と表示されます。

"Analog"を選んだ場合、"DAC Analog"と表示されます。

■ "Analog"を選んだ場合

本体表示部のレベルメーターが、OVERのところまで振れないように調整します。最も大きなレベルのとき、-6dBから0dBの間に振れるように調整します。

■ DACモードを解除するには

DACモードボタンを押す、または停止ボタン（■）を押します。

注意

- タイマーを使って演奏や録音をすると、DACモードは無効になります。
- DACモードにすると、プログラム演奏のプログラム内容が消えます。
- DACモードの設定は記憶されます。

こんな表示が出たときは

表 示	意 味	このようにしてください
No Disc	● MDが入っていない。	● MDを入れる
Disc ERR	● ディスクにキズがついている。 ● TOCがMDに書き込まれていないか、データに異常がある。	● MDをもう一度入れ直す。 ● 他のMDと取り換える。
?Disc	● データに異常がある。規格外のMDである。	● 他のMDと取り換える。
Disc Full	● MDに録音できる空きがない。	● 他の録音用MDと取り換える。
Blank Disc	● 何も記録されていない。 （ディスク名も記録されていない。）	● 再生するときは、録音されたMDと取り換える。
Playback MD	● 再生専用MDに録音や編集をしようとした。	● 録音用MDと取り換える。
Protected	● MDが誤消去防止状態になっている。	● 誤消去防止状態をもとに戻す。
TOC Full	● 曲番や文字情報（ディスク名／曲名など）を登録する空きがない。	● 他の録音用MDと取り換える。
Can't REC	● ショックやディスクのキズで正しく録音できなかった。	● 録音をやり直すか、MDを換えてみる。
Temp Over	● 温度が高くなりすぎた。	● 電源を切ってしばらく休ませる。
Can't Edit	● 編集できない。	● 曲の停止位置を変えて、編集し直す。
Name Full	● ディスク名／曲名を登録する空きがない。	● ディスク名／曲名を短くする。
Defect	● ディスクにキズがあるため、録音がとぎれる。	● 他の録音用MDと取り換える。
MECHA ERR ※※ （※は数字や記号です。）	● 本機が正しく働いていない。	● 一度電源スイッチを切って、再度電源スイッチを入れ直してみる。
Can't Copy	● コピー禁止のものから録音しようとした。	● コピー可能なもの（一般のCDなど）に換える。 ● アナログ録音にする。
Not Audio	● オーディオ用でないデータが記録されている。	● 他の曲を選ぶ。 ● MDを取り換える。
UTOC W ERR	● ショックやディスクのキズでTOC情報が正しく作成できない。	● 電源を切って、もう一度書込みをしてみる。 （書込み中はショックを与えないでください。）
UTOC ERR ※ (※は数字や記号です。)	● 記録されているTOC情報がMDの規格に合っていなかったり、読めない。	● 他のMDと取り換える。 ● オールイレースをし、録音をやり直す。
Din Unlock	● デジタル入力のとき、正常な信号が入力されない。	● デジタル入力端子に正しく接続されているか確認する。
TOC ERR ※ (※は数字や記号です。)	● ディスクに傷がある。 ● TOC情報が読めない。 ● 規格外のMD。	● 他のMDと取り換える。
SIO Error	● 本機の内部において、一時的に支障をきたした。	● 一度電源スイッチを切って、再度電源スイッチを入れ直してみる。
Point ERR	● B点をA点と同じ場所、またはA点よりも前の場所に設定しようとした。	● B点をA点より後ろに設定する。

➡「故障？ちょっと調べてください」もご覧ください P.45 。
➡「MDのシステム上の制約」もご覧ください P.13 。

故障？ちょっと調べてください

● 故障かな・・・？と思ったら、ちょっとチェックしてみてください。下の項目をチェックしても直らないときは、お近くのパイオニアサービスステーションまたはお買い上げの販売店にご連絡ください。

症　状	原因と思われること	処　置
音がでない。	● 電源プラグがはずれている。 ● すべてのコードが完全に接続されていない。	● 電源プラグを正しく接続する。 ● 接続のしかたを参照して、正しく接続する。 P.6 P.7
録音ができない。	● MDが誤消去防止状態になっている。 ● 再生専用MDを入れている。 ● TOCがいっぱいになっている。（録音、編集を繰返すと、このようになることがあります。）	● 誤消去防止つまみを閉じる。 P.11 ● MDを入れかえる。 ● 1曲または全曲イレースを行えば、新たに録音できます。 P.38
モノラルで録音されてしまう。	● モノラル長時間モードになっている。	● 録音モードをステレオモードにする P.28
音がとぎれる。	● MDレコーダーが結露している。	● 1時間程待ってから再生する。 P.47
短い曲を消しても録音の残り時間が増えない。	● 12秒以下の短い曲は曲として数えないことがある。	● 故障ではありません。
録音時間と残り時間をたしても最大録音可能時間にならない。	● 最小録音単位が2秒のため、これに満たない曲でも2秒のスペースを使っているので合わないことがある。 ● ディスクにキズがあり、録音不可の部分がある。	● 故障ではありません。 ● MDを入れかえる。
曲と曲をつなげない。	● モノラル長時間録音した曲とステレオ録音した曲をつなごうとしている。 ● デジタル録音とアナログ録音の曲をつなごうとしている。 ● 12秒以下の短い曲をつなごうとしている。	● モノラル長時間録音した曲とステレオ録音した曲はつなげません。 ● デジタルと、アナログはつなげません。 ● 録音、編集を繰り返したディスクでは、曲と曲をつなげることができないことがありますが、故障ではありません。

● テレビを近くに設置した場合に、映像の乱れが生じることがあります。テレビで室内アンテナをご使用の場合に起こりやすく、このようなときは屋外アンテナを使用するかテレビを離して設置してください。

● 静電気および外部からの影響などにより、本機が正常に動作しない場合があります。このようなときは、一度電源スイッチを切ってから、再度電源スイッチを入れ直すことにより正常に動作します。

アフターサービス

■保証書（別に添付してあります。）

保証書は、必ず「販売店名・購入日」などの記入を確かめて販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

保証期間はご購入日から１年間です。

■補修用性能部品の最低保有期間

ステレオの補修用性能部品の最低保有期間は製造打ち切り後８年です。この期間は通商産業省の指導によるものです。補修用性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。

■修理に関するご質問、ご相談は

お買上げの販売店または、最寄りの当社サービスステーションをご利用ください。所在地、電話番号は別添の「ご相談窓口・修理窓口のご案内」をご覧ください。

■修理を依頼されるとき

もう一度本書をよくお読みいただき、ご確認のうえなお異常のあるときは、必ず電源プラグを抜いてから修理を依頼してください。

■保証期間中の修理

万一、故障が生じたときは保証書に記載されている当社保証規定に基づき修理致します。お近くのパイオニアサービスステーションまたはお求めの販売店にご連絡ください。保証書の規定にしたがって、修理いたします。

連絡していただきたい内容

- ご住所、お名前、電話番号
- 製品名、型番、ご購入日
- 故障または異常の内容（できるだけ詳しく）
- 訪問ご希望日
- ご自宅までの道順と目標（建物、公園など）

■保証期間が過ぎているときの修理

最寄りのパイオニアサービスステーションまたはお求めの販売店にご相談ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

著作権について

- 放送やレコード、その他の録音物（ミュージックテープ、カラオケテープなど）の音楽作品は、音楽の歌詞、楽曲などと同じく、著作権法により保護されています。
- 従って、それらから録音したテープを売ったり、配ったり、譲ったり、貸したりする場合、及び営利（店のBGMなど）のために使用する場合には、著作権法上、権利者の許諾が必要です。
- 使用条件は、場合によって異なりますので、詳しい内容や申請、その他の手続きについては、「日本音楽著作権協会」（JASRAC）の本部または最寄りの支部にお尋ねください。

社団法人　日本音楽著作権協会（JASRAC・音権協）

支部		電話番号	
本　　部	TEL	03(3481)2121	（大代表）
北海道支部	TEL	011(221)5088	（代表）
盛岡支部	TEL	019(652)3201	（代表）
仙台支部	TEL	022(264)2266	（代表）
長野支部	TEL	026(225)7111	（代表）
大宮支部	TEL	048(643)5461	（代表）
上野支部	TEL	03(3832)1033	（代表）
東京支部	TEL	03(3562)4455	（代表）
西東京支部	TEL	03(3232)8301	（代表）
東京ｲﾍﾞﾝﾄ・ｺﾝｻｰﾄ支部	TEL	03(5286)1671	（代表）
立川支部	TEL	042(529)1500	（代表）
横浜支部	TEL	045(662)6551	（代表）
静岡支部	TEL	054(254)2621	（代表）
中部支部	TEL	052(583)7590	（代表）
北陸支部	TEL	076(221)3602	（代表）
京都支部	TEL	075(251)0134	（代表）
大阪支部	TEL	06(6244)0351	（代表）
大阪北支部	TEL	06(6244)7077	（代表）
神戸支部	TEL	078(322)0561	（代表）
中国支部	TEL	082(249)6362	（代表）
四国支部	TEL	087(821)9191	（代表）
九州支部	TEL	092(441)2285	（代表）
鹿児島支部	TEL	099(224)6211	（代表）
那覇支部	TEL	098(863)1228	（代表）

（1999年1月現在）

正しくお使いいただくために

■ 次のような場所への設置は避けてください

- ●直射日光のあたる所
- ●湿気の多い所や風通しの悪い場所
- ●極端に暑い所や寒い所
- ●振動のある所
- ●ほこりの多い所
- ●油煙、蒸気、熱などがあたる所（台所など）

■ 上に物をのせない

本機の上に物をのせないでください。

■ 通気孔をふさがない

毛足の長い敷物やベッド、ソファーの上などで使用したり、本機を布などでくるんで使用しないでください。放熱を妨げ、故障の原因となります。

■ 熱を受けないように

アンプなど、熱を発生する機器の上にのせないでください。ラックに入れる場合はアンプや他のオーディオ機器から出る熱をさけるため、アンプよりできるだけ下の棚（ホコリをかぶらない程度）に入れてください。

■ 製品のお手入れについて

通常は、柔らかい布で空拭きしてください。汚れがひどい場合は水で５～６倍に薄めた中性洗剤に柔らかい布を浸してよく絞った後、汚れを拭きとり、その後乾いた布で拭いてください。アルコール、シンナー、ベンジン、殺虫剤などが付着すると印刷、塗装などがはげることがありますのでご注意ください。また、ゴムやビニール製品を長時間触れさせることも、キャビネットを傷めますので避けてください。化学ぞうきんなどをお使いの場合は、化学ぞうきんなどに添付の注意事項をよくお読みください。お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

■ 結露について

冬季などに本機を屋外から暖房中の室内に持ち込んだり、本機を設置した部屋の温度を暖房などで急に上げたりすると、動作部やレンズに露が付きます。
露が付いたままですとレーザー光による信号の読み取りができなくなります。
このような場合は、いったん電源を切って１～２時間程度放置するか、室温を徐々に上げてから使用してください。

仕様

形式 .... ミニディスクデジタルオーディオシステム
記録方式 .... 磁界変調オーバーライト方式
再生方式 .... 非接触光学式
サンプリング周波数 .... 44.1 kHz
再生周波数特性 .... 8 Hz～20 kHz
再生 SN 比 .... 100 dB
ワウフラッター .... 測定限界以下
電源電圧 .... AC100 V、50/60 Hz
消費電力（電気用品取締法）...................................... 13 W
外形寸法... 420（幅）× 105（高さ）× 294（奥行）mm
本体質量 .... 3.5 kg

ライン入力端子 .... RCA ピンジャック x2
基準入力レベル500mV（入力インピーダンス50 kΩ以上）
ライン出力端子 .... RCA ピンジャック x2
基準出力レベル 500mV（出力インピーダンス 1 kΩ以下）
ヘッドホン出力端子（音量つまみ最大時）
.... 1.0 mW（負荷インピーダンス 32 Ω）
同軸入力端子 .... RCA ピンジャック x1
0.5 Vp-p（入力インピーダンス 75 kΩ）
光入力端子 x2
光出力端子 x1

付属品

保証書 1
取扱説明書（本書）.. 1
安全上のご注意 1
ご相談窓口・修理窓口のご案内 1
オーディオコード 2
光ファイバーケーブル 1
リモコン 1
単 3 形乾電池(R6P) 2

● 仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。

お客様ご相談窓口(全国共通フリーフォン)

お客様相談センター

- ｶｰｽﾃﾚｵ／ｶｰﾅﾋﾞｹﾞｰｼｮﾝ製品に関するお問合せ窓口　0070-800-818111
- 家庭用ｵｰﾃﾞｨｵ／ﾋﾞﾃﾞｵ製品に関するお問合せ窓口　0070-800-818122
- カタログのご請求に関する窓口　0070-800-818133

＜ご注意＞
- ＰＨＳ、携帯電話、自動車電話、列車公衆電話、船舶電話、ピンク電話および海外からの国際電話ではご利用になれません。予めご了承ください。
- 修理に関しては別添の『ご相談窓口・修理窓口のご案内』をご参照ください。

長年ご使用のオーディオ製品の点検をおすすめいたします。こんな症状はありませんか
- **電源コードや電源プラグが異常に熱くなる。**
- **電源コードにさけめやひび割れがある。**
- **電気が入ったり切れたりする。**
- **本体から異常な音、熱、臭いがする。**

すぐに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜き、故障や事故防止のため電気店または当社サービスステーションに点検（有料）をご依頼ください。

お客様メモ

おぼえのため記入されますと便利です。

ご購入店名	住所 電話番号	お近くのご相談窓口	住所 電話番号
ご購入年月日	年　月　日	型　番	この機種は MJ-D5 です

パイオニア株式会社　〒153-8654 東京都目黒区目黒1丁目4番1号